

淡路から
未来を
創造する



30th



ANNIVERSARY
1990-2019

淡路少年少女発明クラブ
創立30周年記念誌



目 次

挨拶	淡路少年少女発明クラブ	会長	宗 泰一	1
祝辞	淡路市	市長	門 康彦	2
	淡路市議会	議長	太田 善雄	3
	淡路市教育委員会	教育長	山本 哲也	4
	公益社団法人発明協会	会長	内山田竹志	5
	一般社団法人兵庫県発明協会	会長	國井総一郎	6
	一般社団法人兵庫県発明協会	専務理事	田中 雅道	7
	株式会社ツダ	代表取締役	津田 豊	8
	山本光学株式会社	代表取締役社長	山本 直之	9
クラブ概要				10
活動経過報告				11
科学技術週間にちなむ 公開発明教室・記念講演会				21
出前講座				23
出前工作				24
企画運営委員・指導員名簿				26
クラブ員名簿				29
運営からのメッセージ				
	会長代理・企画運営委員・指導員	堀口 純		34
	副会長・企画運営委員・指導員	廣瀬 幸治		35
	指導員	石井 良和		36
	指導員	中之内 肇		37
	企画運営委員・指導員	春木 正己		38
	企画運営委員・指導員	藤川 卓爾		39
	指導員	廣田 睦明		40
	企画運営委員・指導員	丸林 貴博		41
	指導員	水本 公治		42
先輩クラブ員からのメッセージ				
	岡山実咲希			43
	岡山奈津希			43
	川添 寛太			44
	上宮 聡太			44
	川添 徹			45

藤田 和希	45
魚 静真	46
金山 智哉	47
大植 悠利	48
廣島 聖也	48
新聞報道記事	49
クラブ活動の様子	53
島内・島外体験学習	56
受賞記録	59
開始式集合写真	62
淡路少年少女発明クラブ規約	65
協賛企業紹介	68
編集後記	69

挨拶



必要を形に

淡路少年少女発明クラブ
会長

宗 泰一

淡路少年少女発明クラブは、平成2年7月21日に「津名町少年少女発明クラブ」として、全国で110番目のクラブとして発足し今年で32年を迎えます。その間、いろいろな方々にご支援をいただきました。本当にありがとうございます。

コロナ禍により30周年の記念式典をはじめ、さまざまな行事や活動が制約を受け計画変更を余儀なくされました。この記念誌も当初より2年遅れての発刊となりました。

現在当クラブでは、兵庫県学生児童発明くふう展、未来の科学の夢絵画展の2つの展示会に向けた活動に力を入れています。「必要は発明の母」ということわざがありますが、クラブ員は、お父さん・お母さんの‘困った’を見て、いろいろ工夫を重ねアイデアを出して何が必要かを形にしていきます。お父さん・お母さん・指導員とコミュニケーションを取りながら、和気あいあいに教室が行われています。おかげさまで、毎年のように入選作品が生まれています。

是非一度教室にいらしてください。楽しい雰囲気を味わえますよ。

今回の記念誌の発刊にあたり、堀口会長代理を始めとする編集委員の皆様には深い敬意と感謝を表します。誠にありがとうございました。今後とも、「淡路少年少女発明クラブ」にご支援ご協力をお願いしまして挨拶に代えさせていただきます。

祝 辞



淡路少年少女発明クラブ 創立30周年を祝して

淡路市
市長

門 康彦

淡路少年少女発明クラブが創立30周年を迎えられましたことに対し、心よりお祝いを申し上げます。

貴クラブは、平成2年の創立以来、多く子どもたちに創作活動を通じて作品を作り上げる喜びを感じさせ、科学的な興味や関心を与える取組を続けてこられました。これもひとえに、役員をはじめ、多くの関係者の皆様の御尽力の賜物であり、深く敬意を表します。

急速な少子高齢化の進行や人口減少社会の到来、深刻化する環境問題、頻発化し、かつ、激甚化する自然災害など、私たちを取り巻く社会情勢は大きく変化しています。

淡路市におきましても、今後、様々な課題に挑戦しなければならない重要な時期を迎えており、これまでの取組に一工夫を加え、淡路市の魅力や可能性を大きく伸ばしていく必要があります。

このことは、自由な発想で、創意工夫を凝らしながら目標を達成できる創作性豊かな人間形成を図ることを目的とした貴クラブの理念と一致するものと考えています。

今後も、淡路市の将来を担う子どもたちへの変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、貴クラブの益々の御発展と関係者の皆様の御健勝を御祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



淡路少年少女発明クラブ 創立30周年を迎えて

淡路市議会
議長

太田 善雄

淡路少年少女発明クラブ創立30周年おめでとうございます。

また、創立30周年記念誌が発刊されますことを心からお喜び申し上げます。

平成2年発足後、好奇心いっぱいの子どもたちの自主性や創造性を発揮させ、楽しみながら創造活動に取り組むことで豊かな人間形成に大きく寄与されてこられましたことは、多くの関係者の皆さまのご尽力の賜物であり、改めて深く敬意を表します。

近年の社会情勢が急速に変化する中、インターネットで全世界とつながる便利な世の中になり、生活様式も大きく変わっています。

そのような状況下において、子どもたちには様々な変化を柔軟に受け止め、自由な発想で、『自分で作って、動かして』ものづくりの楽しさと喜びを感じてもらえるよう期待をしています。

皆さまにおかれましては、今後とも子どもたちへの変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、クラブ運営にあたってご指導をいただいている指導員の皆さまのご健勝と貴クラブのますますのご発展を祈念申し上げましてお祝いの言葉とさせていただきます。



淡路少年少女発明クラブの 創立30周年をお祝いして

淡路市教育委員会
教育長

山本 哲也

社会の進歩やコロナ禍など様々な変化の中、淡路少年少女発明クラブがその歩みを重ねられて30周年を迎えられましたことに、心からの敬意とお祝いを申し上げます。

これまで約800名のクラブ修了者を送り出していただいておりますが、これは歴代の会長・指導員の方々・ご支援を頂きました皆様方など、多くの方々のご努力の賜物です。

さて、これからのSociety5.0の社会は、コンピューターや人工知能と人間が二人三脚で歩いていくような社会だと言われていきます。

そのような社会を切り拓いていく淡路の子どもたちには、コンピューターや人工知能を使いこなすことは勿論、人間にしかできないことをより磨いていく必要があります。

それは、何かを発想する力や創り上げる力であり、人間らしさです。正に、発明クラブの目指す「科学技術に対する興味・関心を喚起し、創作活動を通じてアイデアを実現する喜びを体験させ、創造性豊かな人間形成を図ること」にぴったりと重なるものです。

結びに、創立30周年をお祝いするとともに、ますます重要となる発明クラブの活動の発展を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



淡路少年少女発明クラブ 創立30周年を祝して

公益社団法人発明協会
会長

内山田 竹志

淡路少年少女発明クラブの創立30周年を心よりお慶び申し上げます。

貴クラブは、1990年に津名町少年少女発明クラブとして発足以来、地域の青少年に対し、単なる工作ではなく学校教育における創造学習を補強・進化させる社会教育の一環として、広く創造性の育成に努められてこられました。

これもひとえに、宗泰一会長をはじめとする歴代会長のリーダーシップはもとより、自治体、教育委員会、さらには発足当初より理解を示し、協賛されている地元企業による盤石な運営体制と、活動を支えてこられた関係各位のご尽力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

貴クラブは、発明くふう展や絵画展に向けた作品制作を積極的に行い、過去10年の活動においては、県内コンクールでは連年多数の受賞者を輩出してこられました。また、全国展においても入選を果たすという輝かしい実績は、これまでの貴クラブの指導陣の努力が成果となって現れている証左であり、今後より一層のご活躍を期待する次第です。

当協会といたしましても、少年少女発明クラブが担う使命の重要性に鑑み、今後とも本事業の更なる推進に力を尽くしてまいる所存であります。関係各位におかれましては、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。



淡路少年少女発明クラブ 創立30周年を祝して

一般社団法人兵庫県発明協会
会長

國井 総一郎

淡路少年少女発明クラブの皆様、創立30周年を迎えられ誠にありがとうございます。

これはひとえに歴代会長をはじめ教育委員会、指導員、関係各位のみなさまのご努力の賜物と存じます。

発明協会は、昭和49年から全国で少年少女発明クラブの設立を開始し、貴クラブは平成2年より活動を開始されました。この30年で、コロナ禍での活動は最も大変だったのではないのでしょうか、夏休みが短縮され、兵庫県学生児童発明くふう展が中止となりました。先が見えない、前例がない、厳しい環境下で運営を工夫され、活動を継続されたことに感謝申し上げます。

淡路地域は、ひょうご五国でも特色ある地域です。大昔より御食国と呼ばれ農業、漁業が盛んでした。最近では観光面でも注目されています。知財面でも特産品の商標や地域団体商標などが数多く権利化されており、地域の特色が現れています。

また、兵庫県に目を向けますと、全国に先駆けて水素エネルギーを活用した水素社会の実現に向け様々な取り組みが、現在行われています。環境にやさしい低炭素社会の実現だけでなく、それに伴う経済の好循環による地域と産業の活性化が目標とされています。供給面ではオーストラリアでの水素採掘、液化水素運搬、水素貯蔵等のインフラが全国に先駆け進行中です。活用面では水素発電、水素自動車などが進行中です。まさに水素技術を起点とした科学技術立国日本の実現がここにあります。

将来、クラブ員の皆さんが農業、漁業、観光、技術、どのような道に進まれてもチャレンジすることが身近に沢山あるという事です。将来どんな道に進まれても、このクラブで学んだ創意工夫の精神を忘れずに、その道で新しいことにチャレンジされることをお願いいたします。チャレンジする気持ちが結果以上に一番大事です。

このクラブ員の皆さんへのお願いを創立30周年のお祝いの言葉とするとともに、貴クラブの益々のご発展を祈念申し上げます。



淡路少年少女発明クラブ 創立30周年を祝して

一般社団法人兵庫県発明協会
専務理事

田中 雅道

淡路少年少女発明クラブの皆様、創立30周年、誠におめでとうございます。

これは、30年の間にクラブ運営に携われた会長、教育委員会、指導員、全ての皆様のご尽力の賜物だと思っております。

また、平素より兵庫県発明協会の青少年育成事業に多大なご理解を賜り感謝申し上げます。

私が初めて、開始式にお伺いしてから5年が経ちました。毎年、兵庫県少年少女発明くふう展に多数の作品を応募いただき、また展示期間中には校外学習として神戸市立青少年科学館に来館くださいました。また、発明の日の講演や公開教室、他地域クラブとの交流など積極的に運営に取り組まれており、大変なご苦勞があったと思います。

クラブ員の皆さんの作品を毎年楽しく拝見させていただいています。私が好きなのは作品の元となる発想です。不便なこと、特に家族の困りごとを解決したい、そんな思いやりを感じる作品が多いと感じています。普段から心の片隅で感じているからこそその発想だと思います。

近年、淡路島は観光スポットとして注目を浴びるようになりました。私が昔から好きな西浦から見る夕日が、最近は淡路西海岸の絶景夕日と言われるようになりました。呼び方は変わっても、その美しさは昔も今も変わりません。クラブ員の皆さんの人を思いやる気持ちは、このクラブの無形の財産だと思っています。

最後になりますが、この素晴らしい淡路少年少女発明クラブが40年、50年と続きますことを祈念してお祝いのご挨拶とさせていただきます。

これからも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



淡路少年少女発明クラブ 創立30周年に寄せて

株式会社ツダ
代表取締役

津田 豊

淡路少年少女発明クラブ（以下発明クラブ）に参加させて頂いた時期は平成28年（2016）4月2日の開所式で、企画運営委員の委嘱状を拝命したのが始まりです。今日まで何もお役に立てず開所式に参加するのが精一杯ですが、会長はじめ役員の皆様、指導員の方々の子ども達にかける熱意に大変驚かされます。毎年の事ですが、募集に応じられた少年少女の皆さんはものづくりに情熱を持った指導員のアドバイスに耳を傾け、独自の発想で画期的な視点による「発明品」を造られています。その場に立ち会えて「発明品」を見せてもらえることに驚きとわくわくするような高揚感を味わい、この取り組みが継続してますます発展されますようご祈念申し上げる次第です。賛助会員としてもお役に立てているか分かりませんが、発明クラブに根強く息吹いた「ものづくり」の情熱を絶やすことなく大輪となって少年少女の取り巻く環境がより良くなるよう願います。

創立30周年にあたり企画運営委員の末席で賛助会員を務めさせて頂いていますことに感謝し継続した活動をご支援頂いています皆様にお慶び申し上げます。



淡路少年少女発明クラブ 創立30周年を祝して

山本光学株式会社
代表取締役社長

山本 直之

この度は、淡路少年少女発明クラブが創立から30周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴クラブとのご縁は、先代の社長であり、父である山本為信の時代から続き、平成29年には科学技術週間にちなんだ記念講演をさせていただくという、大変貴重なご機会をいただいております。今回、私もこちらの記念誌にご掲載いただけることを誠に光栄に感じております。

さて、当社はスポーツ用のゴーグル・サングラスや、産業用の保護眼鏡など、眼を守る製品を主に取り扱う製造業でございます。淡路島出身で活躍する社員も多く在籍しており、未来ある子どもたちが「探求心」や「アイデア」を形にすることのできる貴クラブの素晴らしい活動は、淡路島の若き才能を育み、当社を含む様々な企業様の技術に繋がっていると確信しております。至らぬ点もあるかと思いますが、今後も企画運営委員としてご支援させていただくと共に、日本の技術を盛り上げていけるような関係をさらに強固に築いていきたい所存でございます。

末筆ではございますが、淡路少年少女発明クラブの益々のご発展と、皆様方のご活躍を心より祈念致しまして、この度のお祝いの言葉とさせていただきます。

クラブ概要

少年少女発明クラブとは

少年少女発明クラブは、発明協会創立70周年の記念事業の一環として、1974年にスタートした事業です。現在は全国47都道府県に209箇所、約9,000名の子ども達と、約2,800名の指導員が活躍しています。

淡路少年少女発明クラブは、1990年7月に全国で110番目、兵庫県では神戸市に次いで2番目のクラブとして誕生しました。

少年少女発明クラブの誕生

1974年に誕生した少年少女発明クラブ、きっかけを作った人物は、当時の発明協会会長でソニー創業者の故・井深大氏です。いわば、同氏は少年少女発明クラブの生みの親と言えます。

同氏は、次代を担う青少年に、「ものづくり」に親しむ環境を整えることが重要であり、日本が将来にわたり科学技術創造立国として持続的な発展を実現するには、ものづくりに携わる人材の育成が不可欠であると提唱しました。

その熱意は、たちまち多くの賛意を得て全国に展開し、現在まで受け継がれています。

学校教育とはひと味違う活動で、創造力豊かな子を育みます

自分の意思で集まった子ども達のための課外活動です。

もの作りに意欲を持った子ども達が、のびのびと自由に発想し、主体的に学びながら楽しんで活動をしています。

淡路少年少女発明クラブの活動

- ・年間約40回の教室と、島内・島外の工場施設などを見学する体験学習を行っています。
- ・地域の子ども工作教室などへ出向いて工作指導なども行っています。
- ・淡路市教育委員会の依頼で、小中学校へ出向いて出前講座を行っています。

運営体制など [30周年記念誌発行時（令和5年3月現在）]

- ・企画運営委員：12名
- ・指導員：13名
- ・クラブ員：20名（定員30名）
- ・活動場所：淡路市立津名公民館内（事務局）の技術室

活動経過報告

平成22年度

活動日	活動内容	主幹指導員
4月24日(土)	開始式・公開発明教室（からくり内輪）	小堀
5月8日(土)	アイデア作品の製作①（道具の使い方）	廣瀬
5月22日(土)	アイデア作品の製作②	廣瀬
6月12日(土)	アイデア作品の製作③	西川
6月26日(土)	アイデア作品の製作④	西川
7月10日(土)	アイデア作品の製作⑤	廣瀬
7月11日(日)	発明クラブ創立20周年記念式典	全員
7月24日(土)	アイデア作品の製作⑥	堀口
8月14日(土)	アイデア作品の製作⑦	廣瀬
8月25日(水)	島内体験学習（三和製作所）	廣瀬・堀口・石井
	アイデア作品の製作⑧	
9月11日(土)	アイデア作品の製作⑨	廣瀬
9月25日(土)	アイデア作品の製作⑩	廣瀬
10月9日(土)	課題工作①	小堀
10月23日(土)	課題工作②	小堀
11月3日(祝)	島外体験学習（バンドー神戸市立青少年科学館）	堀口・石井
11月13日(土)	課題工作③	堀口
11月27日(土)	課題工作④	堀口
12月11日(土)	課題工作⑤	堀口
12月25日(土)	課題工作⑥	立谷
1月8日(土)	課題工作⑦	立谷
1月22日(土)	課題工作⑧	向田
2月12日(土)	課題工作⑨	向田
3月12日(土)	終了式	全員

平成23年度

活動日	活動内容		指導員
4月23日(土)	開始式・公開発明教室	飛行体を作ろう	西川・石井・小堀 中之内・森岡・堀口
5月7日(土)	基礎知識講座	発明とは	堀口・石井・春木・森岡
5月21日(土)	基礎製図・工作講座	図面の書き方、工具の使いかた、 危険予知トレーニング	堀口・石井・中之内 春木・森岡・若松
6月11日(土)	アイデア発掘①	欲しいもの、不便を考える	西川・廣瀬・中之内 小堀・堀口
6月25日(土)	アイデア発掘②	スケッチ、図面等で表す	中之内・石井・堀口
7月9日(土)	アイデア工作①	アイデアの選択、名前付け	春木・廣瀬・石井 小堀・西川・堀口
7月23日(土)	アイデア工作②	材料集め、アイデア工作開始	石井・廣瀬・小堀・西川 中之内・春木・堀口・若松
8月6日(土)	アイデア工作③	材料集め、アイデア工作開始	堀口・春木・中之内
8月20日(土)	アイデア工作④	アイデア工作	中之内・石井 森岡・堀口
8月24日(水)	島内体験学習	山本光学(株) 浦・北淡工場を見学	堀口・石井・廣瀬 春木・森
9月10日(土)	アイデア工作⑤	アイデア工作	石井・廣瀬・森岡・西川 中之内・春木・堀口
9月24日(土)	アイデア工作⑥	最終仕上げ工作、作品の搬出	石井・廣瀬・森岡・西川 中之内・春木・堀口・若松
10月8日(土)	課題工作	教訓茶碗の製作	廣瀬・石井・春木 中之内・堀口
10月22日(土)	課題工作	紙コップのロボット	廣瀬・石井 春木・中之内
11月3日(祝)	島外体験学習	発明くふう展、グリコピア神戸を見学	石井・森岡・堀口
11月19日(土)	課題工作	音階の仕掛け工夫楽器①	小堀・石井・春木
11月26日(土)	課題工作	音階の仕掛け工夫楽器②	小堀・石井・堀口
12月10日(土)	課題工作	レザークラフト 革の話、小銭入れを作る	立谷・石井
12月24日(土)	課題工作	藁(わら)を科学する しめ縄の構造を探る	立谷・中之内
1月14日(土)	課題工作	身近にある物づくり	向田・石井 春木・森岡
2月18日(土)	課題工作	ポッカairoを作ろう	向田・石井・堀口
2月25日(土)	課題工作	リニアモーターカー製作	中之内・石井・春木 森岡・堀口
3月10日(土)	終了式		全員

平成24年度

活動日	活動内容		主幹指導員
4月7日(土)	開始式	オリエンテーション クラブ員心得、安全についての注意	全員
	基礎工作①	図面の描き方・箱を作る	廣瀬
4月21日(土)	公開発明教室	金環日食を観測しよう	廣瀬
5月12日(土)	アイデア工作案	案づくりについての勉強会(発明について)	廣瀬
6月2日(土)	基礎工作②	電気工作の基礎(配線や電気の話)	森岡
6月9日(土)	基礎工作③	LEDの点灯(回路図より配線をしてLEDの点灯)	森岡
6月23日(土)	アイデア工作案	発表・選考会(アイデア締め切り、選考)	全員
7月7日(土)	アイデア工作	工程表作製(A・Bグループ)	廣瀬
7月14日(土)		Bグループ	中之内
7月21日(土)		Aグループ	春木
7月28日(土)		Bグループ	中之内
8月4日(土)		Bグループ	中之内
8月11日(土)		Aグループ	春木
8月22日(水)	島内体験学習	(株)ムカエ、消防署、ミツ精機(株)を見学	梅原
	アイデア工作	A・Bグループ	西川
8月25日(土)	アイデア工作	Aグループ	春木
9月1日(土)		Aグループ	春木
9月8日(土)		Bグループ	中之内
9月15日(土)		Aグループ	春木
9月22日(祝)		Bグループ	中之内
9月29日(土)		A・Bグループ	廣瀬
10月13日(土)	課題工作①	太陽電池・モーターを使う工作(回転飛行塔)	森岡
10月14日(日)	淡路文化会館 イベント参加	いざなぎの丘元気っ子フェスティバル	梅原
10月27日(土)	課題工作①	太陽電池・モーターを使う工作(回転飛行塔)	森岡
11月4日(日)	島外体験学習	神戸市立青少年科学館(発明くふう展)、 竹中大工道具館	梅原
11月10日(土)	課題工作②	木材を使った工作(動く舟を作る)	西川
11月24日(土)			
12月8日(土)	課題工作③	飛び出すしおり	立谷
	交流会	指導員交流会(東大阪市少年少女発明クラブ)	立谷
12月22日(土)	課題工作④	革製ペンケース	立谷
1月12日(土)	課題工作⑤	針金を使った工作(針金で動物や三輪車を作る)	西川
1月26日(土)			
2月9日(土)	課題工作⑥	厚紙を使った工作(円盤を飛ばそう)	向田
2月23日(土)			
3月9日(土)	終了式		全員

平成25年度

活動日	活動内容		主幹指導員
4月6日(土)	開始式	オリエンテーション (クラブ員心得、安全についての注意)	梅原
	基礎工作①(体験工作①)	紙を使った工作(図面の描き方・箱を作る)	廣瀬
4月14日(日)	記念講演	科学技術週間にちなむ講演会	廣瀬
4月20日(土)	公開発明教室(体験工作②)	科学技術週間にちなむ工作(手作りカメラを作ろう)	廣瀬
5月11日(土)	アイデア工作案	案づくりについての勉強会(発明について)	廣瀬
5月25日(土)	基礎工作②	木工の基礎(木を使った工作・工具の使い方)	西川
6月8日(土)	基礎工作③	電気工作の基礎(回路図より配線をしてLEDの点灯)	森岡
6月22日(土)	アイデア工作案	発表・選考会 (工作方案発表、アイデア工作グループ選考)	廣瀬
7月6日(土)	アイデア工作	工程表作製(製作用図面を完成させ工程表を作る)	廣瀬
7月13日(土)	課題工作①	モーターを使った工作(リモコンロボットを作ろう)	西川
7月20日(土)	アイデア工作	工作用材料の手配 (使用材料の検討と手配・材料費概算)	春木
7月27日(土)	課題工作①	モーターを使った工作(リモコンロボットを作ろう)	西川
8月3日(土)	アイデア工作	製作開始(使用材料準備の上製作を始める)	廣瀬
8月10日(土)	課題工作②	木を使った工作(木製の立体パズルを作ろう)	廣瀬
8月17日(土)	アイデア工作	完成度30%	春木
8月21日(水)	島内体験学習	木下自動車(株)・URA(株)を見学	梅原
8月24日(土)	課題工作②	木を使った工作(木製の立体パズルを作ろう)	廣瀬
8月31日(土)	アイデア工作	完成度50%	廣瀬
9月7日(土)		完成度80%	春木
9月14日(土)	課題工作③	カガミを使った工作(万華鏡を作ろう)	廣瀬
9月15日(日)	アイデア工作	動作の確認～完成へ	廣瀬
9月21日(土)	課題工作③	カガミを使った工作(万華鏡を作ろう)	廣瀬
9月28日(土)	アイデア工作	完成・一般募集作品受付(写真・動画撮影)	春木
9月29日(日)		審査会	廣瀬
10月12日(土)	課題工作④	モーターカーを作ろう	森岡
10月26日(土)			
11月4日(祝)	島外体験学習	神戸市立青少年科学館(発明くふう展)、神戸ヤクルト工場	梅原
11月9日(土)	課題工作⑤	プロペラで動く舟を作る (水陸両用車を作ろう)	春木
11月23日(祝)			
12月14日(土)	交流会	指導員交流会(東大阪市少年少女発明クラブ)	廣瀬
12月21日(土)	課題工作⑥	厚紙を使った工作(びっくりうちわを作ろう)	小堀
1月11日(土)	課題工作⑦	木を使った工作(空飛ぶやじろべえを作ろう)	向田
1月25日(土)			
2月8日(土)	特別教室	ロボットを知ろう	梅原
2月22日(土)	茶話会	反省会・お楽しみ会	廣瀬
3月8日(土)	終了式		梅原

平成26年度

活動日	活動内容		主幹指導員
4月5日(土)	開始式	オリエンテーション(クラブ員心得、安全についての注意)	梅原
	基礎工作①(体験工作①)	紙を使った工作(図面の描き方・箱を作る)	廣瀬
4月19日(土)	公開発明教室(体験工作②)	科学技術週間にちなむ講演会と 工作「回転アニメーション」	廣瀬
5月10日(土)	アイデア工作方案	案づくりについての勉強会(発明について)	廣瀬
5月31日(土)	基礎工作②	木工の基礎(木を使った工作・工具の使い方)	西川
6月14日(土)	基礎工作③	電気工作の基礎(回路図より配線をしてLEDの点灯)	森岡
6月28日(土)	アイデア工作方案	発表・選考会(工作方案発表、アイデア工作グループ選考)	廣瀬
7月5日(土)	アイデア工作	工程表作製(製作用図面を完成させ工程表を作る)	廣瀬
7月12日(土)	課題工作①-1	木と紙を使った工作(空飛ぶおもちゃ)	春木
7月19日(土)	アイデア工作	工作用材料の手配(使用材料の検討と手配・材料費概算)	春木
7月26日(土)	課題工作①-2	木と紙を使った工作(空飛ぶおもちゃ)	春木
8月2日(土)	アイデア工作	製作開始(使用材料準備の上製作を始める)	廣瀬
8月16日(土)	アイデア工作	完成度30%進捗状況チェック(指導員検討会)	春木
8月20日(水)	島内体験学習	薫寿堂株式会社、北坂養鶏場を見学	梅原
8月23日(土)	課題工作②	木を使った工作(親子車)	西川
8月30日(土)	アイデア工作	完成度50%進捗状況チェック(指導員検討会)	廣瀬
9月6日(土)		完成度80%進捗状況チェック(指導員検討会)	春木
9月13日(土)	課題工作③-1	ふしぎなおもちゃ(ストローの手・空気砲)	立谷
9月14日(日)	アイデア工作	動作の確認～完成へ(性能向上の改良を検討)	廣瀬
9月20日(土)	課題工作③-2	ふしぎなおもちゃ(ストローの手・空気砲)	立谷
9月27日(土)	アイデア工作	完成・一般募集作品受付(写真・動画撮影)	春木
9月28日(日)	アイデア工作審査会	クラブ賞審査(クラブの賞4点選考)	廣瀬
10月5日(日)	淡路文化会館イベント参加	いざなぎの丘元気っ子フェスティバル	梅原
10月11日(土)	絵画展作画①	未来の科学の夢絵画展(作品作りのための勉強会)	廣瀬
10月25日(土)	絵画展作画②	未来の科学の夢絵画展(作品作り)	廣瀬
11月2日(日)	島外体験学習	神戸市立青少年科学館(発明くふう展)、 関西電力大河内発電所	梅原
11月8日(土)	絵画展作画③	未来の科学の夢絵画展(作品作り)	廣瀬
11月22日(土)	絵画展作画④	未来の科学の夢絵画展(作品作り)	廣瀬
12月13日(土)	交流会(淡路)	クラブ員、指導員交流会(東大阪市少年少女発明クラブ)	廣瀬
12月20日(土)	課題工作④	空飛ぶやじろべえをつくろう	向田
1月10日(土)	課題工作⑤-1	電気工作(モーターカーを作ろう)	森岡
1月24日(土)	課題工作⑤-2		森岡
2月7日(土)	特別教室	ロボットの学習とプログラム	梅原
2月21日(土)	茶話会	反省会・お楽しみ会(内容はクラブ員が決める)	廣瀬
2月28日(土)	交流会	指導員交流会(東大阪市少年少女発明クラブ)	廣瀬
3月7日(土)	終了式		梅原

平成27年度

活動日	活動内容		主幹指導員
4月4日(土)	開始式	オリエンテーション(クラブ員心得、安全についての注意)	梅原
	基礎工作①(体験工作①)	紙を使った工作(図面の描き方・箱を作る)	廣瀬
4月18日(土)	公開発明教室(体験工作②)	科学技術週間にちなむ講演会と工作「風で動くおもちゃ」	廣瀬
4月25日(土)	指導員研修	スキルアップ研修会(コーチングについて)	堀口
5月9日(土)	アイデア工作案	案づくりについての勉強会(発明について)	廣瀬
5月30日(土)	基礎工作②	木工の基礎(木を使った工作・工具の使い方)	西川
6月13日(土)	基礎工作③	電気工作の基礎(回路図より配線をしてLEDの点灯)	森岡
6月27日(土)	アイデア工作案	発表・選考会(工作案発表、アイデア工作グループ選考)	廣瀬
7月4日(土)	アイデア工作①	工程表作製(製作用図面を完成させ工程表を作る)	廣瀬
7月11日(土)	課題工作①-1	木と紙を使った工作(空飛ぶおもちゃ)	春木
7月18日(土)	アイデア工作②	工作用材料の手配(使用材料の検討と手配・材料費概算)	廣瀬
7月25日(土)	課題工作①-2	木と紙を使った工作(空飛ぶおもちゃ)	春木
8月1日(土)	アイデア工作③	製作開始(使用材料準備の上製作を始める)	廣瀬
8月8日(土)	課題工作②-1	木を使った工作(本立てを作ろう)	西川
8月15日(土)	アイデア工作④	完成度30%進捗状況チェック(指導員検討会)	廣瀬
8月19日(水)	島内体験学習	㈱浦共同造船所を見学	梅原
8月22日(土)	課題工作②-2	木を使った工作(本立てを作ろう)	西川
8月29日(土)	アイデア工作⑤	完成度50%進捗状況チェック(指導員検討会)	廣瀬
9月5日(土)	アイデア工作⑥	完成度80%進捗状況チェック(指導員検討会)	廣瀬
9月13日(日)	課題工作③-1	電気工作(モーターカーを作ろう)	森岡
9月19日(土)	アイデア工作⑦	動作の確認～完成へ(性能向上の改良を検討)	廣瀬
9月20日(日)	課題工作③-2	電気工作(モーターカーを作ろう)	森岡
9月26日(土)	アイデア工作⑧	完成・一般募集作品受付(写真・動画撮影)	廣瀬
9月27日(日)	アイデア工作審査会	クラブ賞審査(クラブの賞4点選考)	廣瀬
10月10日(土)	絵画展作画①	未来の科学の夢絵画展(作品作りのための勉強会)	廣瀬
10月17日(土)	絵画展作画②	未来の科学の夢絵画展(作品作り)	廣瀬
11月1日(日)	島外体験学習	神戸市立青少年科学館(発明くふう展)	梅原
11月14日(土)	絵画展作画③	未来の科学の夢絵画展(作品作り)	廣瀬
11月28日(土)	絵画展作画④		廣瀬
11月29日(日)	絵画展作画⑤	未来の科学の夢絵画展(作品作り追加)	廣瀬
12月12日(土)	課題工作④	ペットボトルを使った工作(風力発電機)	石井・廣瀬
1月9日(土)	特別工作教室①	向田工作教室(超簡単なモーターづくり)	向田
1月23日(土)	特別工作教室②	立谷工作教室(キーケースの製作(レザークラフト))	立谷
2月6日(土)	特別工作教室③	井上工作教室(竹笛(ウグイス笛)を作ろう)	井上
2月20日(土)	茶話会	反省会・お楽しみ会(内容はクラブ員が決める)	廣瀬
2月27日(土)	交流会	指導員交流会(東大阪市少年少女発明クラブ)	廣瀬
3月5日(土)	終了式		梅原

平成28年度

活動日	活動内容		主幹指導員
4月2日(土)	開始式	オリエンテーション(クラブ員心得、安全についての注意)	梅原
	基礎工作①(体験工作①)	紙を使った工作(図面の描き方・箱を作る)	廣瀬
4月16日(土)	指導員研修	スキルアップ研修会(コーチングについて)	堀口
4月23日(土)	公開発明教室(体験工作②)	科学技術週間にちなむ講演会と工作「〇〇で動くおもちゃ」	廣瀬
4月30日(土)	アイデア工作案	案づくりについての勉強会(発明について)	廣瀬
5月14日(土)	基礎工作②	木工の基礎(木を使った工作・工具の使い方)	西川
6月4日(土)	基礎工作③	電気工作の基礎(配線をしてLEDの点灯)	石井
6月11日(土)	アイデア工作案	工作案発表・選考会(アイデア工作グループ選考)	廣瀬
6月25日(土)	課題工作①	電気工作(キット)(風力発電機を作ろう)	春木
7月2日(土)	アイデア工作①	工程表作製(製作用図面を完成させ工程表を作る)	廣瀬
7月9日(土)	課題工作②-1	木を使った工作(滑車で動くおもちゃ)	春木
7月16日(土)	アイデア工作②	工作用材料の手配(使用材料の検討と手配・材料費概算)	廣瀬
7月23日(土)	課題工作②-2	木を使った工作(滑車で動くおもちゃ)	春木
7月30日(土)	アイデア工作③	製作開始(使用材料準備の上製作を始める)	廣瀬
8月7日(日)	課題工作③-1	木を使った工作(スリッパ立てを作ろう)	西川
8月13日(土)	アイデア工作④	完成度30%進捗状況チェック(指導員検討会)	廣瀬
8月17日(水)	島内体験学習	オリエンタル製靴(株)淡路夢舞台工場を見学	梅原
8月21日(日)	課題工作③-2	木を使った工作(スリッパ立てを作ろう)	西川
8月27日(土)	アイデア工作⑤	完成度50%進捗状況チェック(指導員検討会)	廣瀬
9月3日(土)	課題工作④-1	電気工作(キット)(モーターカー作ろう)	石井
9月10日(土)	アイデア工作⑥	完成度80%進捗状況チェック(指導員検討会)	廣瀬
9月17日(土)	課題工作④-2	電気工作(キット)(モーターカー作ろう)	石井
9月18日(日)	アイデア工作⑦	動作の確認～完成へ(性能向上の改良を検討)	廣瀬
9月24日(土)	アイデア工作⑧	完成(写真・動画撮影)	廣瀬
9月25日(日)	作品審査会	クラブ賞審査(クラブの賞4点選考)	廣瀬
10月8日(土)	絵画展作画①	未来の科学の夢絵画展(作品作りのための勉強会)	廣瀬
10月22日(土)	絵画展作画②	未来の科学の夢絵画展(作品作り)	廣瀬
10月30日(日)	島外体験学習	神戸市立青少年科学館(発明くふう展) 灘浜サイエンススクエア)	梅原・廣瀬
11月12日(土)	絵画展作画③	未来の科学の夢絵画展(作品作り)	廣瀬
11月26日(土)	絵画展作画④		
11月27日(日)	絵画展作画⑤	未来の科学の夢絵画展(作品作り・出品準備)	廣瀬
12月10日(土)	課題工作⑤	キットを使った工作(ロボットを作ろう)	廣瀬
12月24日(土)	特別工作教室①	立谷工作教室(キーホルダーの製作(レザークラフト))	立谷
1月14日(土)	特別工作教室②	向田工作教室(綿あめ製造機を作ろう)	向田
1月28日(土)	特別工作教室③	井上工作教室(よちよち木のぼりを作ろう)	井上
2月11日(祝)	茶話会	反省会・お楽しみ会(内容はクラブ員が決める)	廣瀬
3月4日(土)	終了式		梅原

平成29年度

活動日	活動内容		主幹指導員
4月8日(土)	開始式	オリエンテーション(クラブ員心得、安全についての注意)	梅原
	基礎工作①(体験工作①)	紙を使った工作(図面の描き方・箱を作る)	廣瀬
	指導員研修	スキルアップ研修会(コーチングについて)	堀口
4月22日(土)	公開発明教室(体験工作②)	科学技術週間にちなむ講演会と工作「ミニ風車を作ろう」	藤川
4月29日(祝)	アイデア工作案	案づくりについての勉強会(発明について)	堀口・梅原
5月13日(土)	基礎工作②	木工の基礎(木を使った工作・工具の使い方)	西川
5月20日(土)	基礎工作③	LEDの基礎・配線・点灯	石井
6月10日(土)	アイデア工作案	工作案発表・選考会(アイデア工作グループ選考)	全指導員
6月24日(土)	課題工作①	木を使った工作(本立てを作ろう)	西川
7月1日(土)	アイデア工作①	工程表作製(製作用図面を完成させ工程表を作る)	全指導員
7月8日(土)	課題工作②-1	レゴ工作(レゴで形づくりをする)	春木
7月15日(土)	アイデア工作②	工作用材料の手配(使用材料の検討と手配・材料費概算)	全指導員
7月22日(土)	課題工作②-2	レゴ工作(レゴで色々な形に挑戦)	春木
7月29日(土)	アイデア工作③	製作開始(使用材料準備の上製作を始める)	全指導員
8月5日(土)	課題工作②-3	レゴ工作(レゴで色々な形に挑戦)	春木
8月12日(土)	アイデア工作④	完成度40%進捗状況チェック(指導員検討会)	全指導員
8月19日(土)	課題工作③	電気工作(コイルモーターを作ろう)	藤川
8月23日(水)	島内体験学習	イレブンインタナショナル淡路夢舞台工場を見学	梅原
8月26日(土)	アイデア工作⑤	完成度60%進捗状況チェック(指導員検討会)	全指導員
9月2日(土)	課題工作④-1	電気工作(キット)(LEDサークルライトを作ろう)	石井・荒木
9月9日(土)	アイデア工作⑥	完成度80%進捗状況チェック(指導員検討会)	全指導員
9月16日(土)	課題工作④-2	電気工作(キット)(LEDサークルライトを作ろう)	石井・原田
9月17日(日)	アイデア工作⑦	動作の確認～完成100%(性能向上の改良を検討)	全指導員
9月23日(祝)	アイデア工作⑧	完成(写真・動画撮影)	全指導員
9月24日(日)	作品審査会	クラブ賞審査(クラブの賞4点選考)	全指導員
10月14日(土)	絵画展作画①	未来の科学の夢絵画展(作品作りのための勉強会)	中之内・堀口
10月28日(土)	絵画展作画②	未来の科学の夢絵画展(作品作り)	中之内・西川
11月5日(日)	島外体験学習	神戸市立青少年科学館(発明くふう展) 神戸海洋博物館(カワサキワールド)	梅原
11月11日(土)	絵画展作画③	未来の科学の夢絵画展(作品作り)	中之内・春木
11月25日(土)	絵画展作画④		中之内・石井
11月26日(日)	絵画展作画⑤	未来の科学の夢絵画展(完成(最終確認)出品準備)	中之内・梅原
12月9日(土)	特別工作教室①	立谷工作教室(ヘリコプターを作ろう)	立谷
12月23日(祝)	課題工作⑤	木を使った工作(体操人形を作ろう)	藤川
1月13日(土)	特別工作教室②	向田工作教室(ポッカイロを作ろう)	向田
1月27日(土)	特別工作教室③	井上工作教室(二重風車を作ろう)	井上
2月10日(土)	茶話会	反省会・お楽しみ会(内容はクラブ員が決める)	全指導員
2月24日(土)	交流会予定	指導員交流会(東大阪市少年少女発明クラブ)	全指導員
3月3日(土)	終了式		梅原

平成30年度

活動日	活動内容		主幹指導員
4月7日(土)	開始式	オリエンテーション(クラブ員心得、安全についての注意)	梅原
	基礎工作①(体験工作①)	紙を使った工作(図面の描き方、箱を作る、サイコロ型パズルを作る)	廣瀬
4月21日(土)	記念講演	科学技術週間にちなむ講演	藤川
	工作(体験工作②)	公開発明教室(講演会と工作「羽ばたき飛行機」)	藤川
4月28日(土)	アイデア工作案	案づくりについての勉強会(発明について、アイデアの出し方)	廣瀬
5月12日(土)	基礎工作②	木工の基礎(木を使った工作・工具の使い方)	西川
6月2日(土)	基礎工作③	電気工作の基礎(配線をしてLEDの点灯)	石井
6月9日(土)	アイデア工作案	工作案発表・選考会(アイデア工作グループ選考)	廣瀬
6月23日(土)	課題工作①-1	木を使った工作(オリジナル本立て)	西川
7月14日(土)	課題工作①-2	木を使った工作(オリジナル本立て)	西川
7月21日(土)	アイデア工作①	工程表作製(製作用図面を完成させ工程表を作る)	廣瀬
7月28日(土)	課題工作②-1	レゴ工作(レゴで色々な形に挑戦)	春木
8月4日(土)	アイデア工作②	工作用材料の手配(使用材料の検討と手配・材料費概算)	廣瀬
8月11日(祝)	課題工作②-2	レゴ工作(レゴで色々な形に挑戦)	春木
8月18日(土)	アイデア工作③	製作開始(使用材料準備の上製作を始める)	廣瀬
8月22日(水)	島内体験学習	吹き戻しの里を見学	梅原
8月25日(土)	アイデア工作④	完成度30%進捗状況チェック(指導員検討会)	廣瀬
9月1日(土)	アイデア工作⑤	完成度50%進捗状況チェック(指導員検討会)	廣瀬
9月8日(土)	課題工作③-1	電気工作(電流イライラ新迷路を作ろう)	堀口
9月15日(土)	アイデア工作⑥	完成度90%進捗状況チェック(指導員検討会)	廣瀬
9月22日(土)	課題工作③-2	電気工作(電流イライラ新迷路を作ろう)	堀口
9月23日(祝)	アイデア工作⑦	動作の確認～完成へ(性能向上の改良を検討)	廣瀬
9月29日(土)	アイデア工作⑧	完成(出品表チェック)(写真・動画撮影)	廣瀬
10月7日(日)	作品審査会	クラブの賞(会長賞・優秀賞3点) 賞4点選考・県学生児童発明くふう展出品準備	廣瀬
10月13日(土)	絵画展作画①	第41回未来の科学の夢絵画展(作品作りのための勉強会)	廣瀬・中之内
10月27日(土)	絵画展作画②	第41回未来の科学の夢絵画展(作品作り)	廣瀬・中之内
11月4日(日)	島外体験学習	神戸市立青少年科学館(発明くふう展) ひょうご環境体験館(佐用町)	梅原・廣瀬
11月10日(土)	絵画展作画③	第41回未来の科学の夢絵画展(作品作り)	廣瀬・中之内
11月24日(土)	絵画展作画④		廣瀬・中之内
11月25日(日)	絵画展作画⑤	第41回未来の科学の夢絵画展(作品作り、出品準備)	廣瀬・中之内
12月1日(土)	淡路少年少女発明クラブ祭(淡路夢舞台国際会議場)		梅原
12月8日(土)	特別工作教室①	立谷工作教室(ふしぎに動くものづくり)	立谷
12月15日(土)	課題工作④-1A	4~6年 キットを使った工作(ライト兄弟の複葉機を作ろう)	藤川
	課題工作④-1B	3年 紙を使った工作(自分で考えた飛行機を作ろう)	廣瀬
12月22日(土)	課題工作④-2A	4~6年 キットを使った工作(ライト兄弟の複葉機を作ろう)	藤川
	課題工作④-2B	3年 紙を使った工作(自分で考えた飛行機を作ろう)	廣瀬
1月12日(土)	特別工作教室②	オリジナル工作(虫めがねで望遠鏡を作ろう)	廣瀬
1月26日(土)	特別工作教室③	井上工作教室(竹笛を作ろう)	井上
2月9日(土)	茶話会	反省会・お楽しみ会(内容はクラブ員が決める)	廣瀬
3月2日(土)	終了式		梅原

令和元年度

活動日	活動内容		主幹指導員
4月6日(土)	開始式	オリエンテーション(クラブ員心得、安全についての注意)	廣瀬
	基礎工作①(体験工作①)	紙を使った工作(図面の描き方・箱を作る) サイコロ型パズルを作る	廣瀬
4月20日(土)	記念講演	科学技術週間にちなむ講演「エネルギーの話」	藤川
	公開発明教室(体験工作②)	チューブプレーン(リング翼) 飛翔競技	廣瀬
4月27日(土)	基礎工作②	木工の基礎(木を使った工作・工具の使い方)	西川
5月4日(祝)	アイデア工作案	案づくりについての勉強会(発明について、アイデアの出し方)	廣瀬
5月11日(土)	指導員研修	スキルアップ研修会(コーチングについて)	堀口
5月18日(土)	アイデア工作指導日	アイデア工作案作り(工作案作りの個別指導)	廣瀬
5月25日(土)			
6月1日(土)			
6月8日(土)			
6月15日(土)	アイデア工作案	工作案発表・選考会(アイデア工作グループ選考)	廣瀬
6月22日(土)	課題工作①-1	電気工作の基礎兼ねる (電流イライラ新迷路を作ろう)	堀口
6月29日(土)	課題工作①-2		
7月6日(土)	アイデア工作指導日	アイデア工作(工作の個別指導)	廣瀬
7月13日(土)	課題工作②-1	木を使う工作(本立(キット))	春木
7月20日(土)	アイデア工作指導日	アイデア工作(工作の個別指導)	廣瀬
7月27日(土)	課題工作②-2	木を使う工作(本立(キット))	春木
8月3日(土)	アイデア工作①	工程表作成、製作開始(使用材料準備の上製作を始める)	廣瀬
8月8日(休)	島外体験学習	あすたむらんど徳島、大塚製薬工場を見学	廣瀬
8月10日(土)	課題工作③	動く工作①(竹のおもちゃ)	井上
8月17日(土)	アイデア工作②	完成度30% 進捗状況チェック(指導員検討会)	廣瀬
8月24日(土)	アイデア工作③	完成度50% 進捗状況チェック(指導員検討会)	廣瀬
8月31日(土)	アイデア工作 指導日	アイデア工作(工作の個別指導)	廣瀬
9月7日(土)	課題工作④	動く工作②(縄跳び人形を作ろう)	藤川
9月14日(土)	アイデア工作④	完成度100% 動作の確認～完成へ	廣瀬
9月21日(土)	課題工作⑤	動く工作③(ストローでヘリコプターを作ろう)	廣瀬
9月28日(土)	アイデア工作⑤	作品発表会(出品表・作品説明書作成)	廣瀬
9月29日(日)	作品審査会	クラブの賞(会長賞・優秀賞3点) 県学生児童発明くふう展出品準備	廣瀬
10月5日(土)	作品出品準備	出品準備予備日	廣瀬
10月19日(土)	絵画展作画①	第42回未来の科学の夢絵画展(作品作りのための勉強会)	廣瀬・中之内
11月2日(土)	絵画展作画②	第42回未来の科学の夢絵画展(作品作り)	廣瀬・中之内
11月9日(土)	島内体験学習	株式会社神田鉄工所を見学	廣瀬
11月16日(土)	絵画展作画③	第42回未来の科学の夢絵画展(作品作り)	廣瀬・中之内
11月23日(祝)	絵画展作画④		
11月24日(日)	作品出品準備	第42回未来の科学の夢絵画展(作品説明書作成、出品準備)	廣瀬
12月7日(土)	特別工作教室①	立谷工作教室(オリジナル工作)	立谷
12月21日(土)	特別工作教室②	藤川工作教室(メビウスの輪とミウラ折りを作ろう)	藤川
1月25日(土)	特別工作教室③	水本工作教室(オリジナル工作)	水本
2月8日(土)	茶話会	反省会・お楽しみ会(グループワークとゲーム)	廣瀬
2月15日(土)	交流会(第1回)	指導員研修(阿南市少年少女発明クラブとの交流会)	廣瀬
3月7日(土)	終了式		廣瀬

科学技術週間にちなむ 公開発明教室・記念講演会

文部科学省が示している科学技術週間要綱に基づいた、科学技術週間の趣旨に沿って青少年参加行事を全国的に実施するよう推進することとなっています。

淡路少年少女発明クラブでは、このような国の示す方針を受けて淡路市と一体となって公開発明教室と記念講演会を過去10年以上継続して開催しています。

公開発明教室

年 度	実施日	活 動 内 容	主幹指導員
平成22年度	4月24日(土)	「カラクリうちわ」の製作	小堀
平成23年度	4月23日(土)	飛行体を作ろう	西川
平成24年度	4月21日(土)	金環日食を観察しよう	廣瀬
平成25年度	4月20日(土)	手作りカメラを作ろう	廣瀬
平成26年度	4月19日(土)	回転アニメーション「ゾートロープ」を作ろう	廣瀬
平成27年度	4月18日(土)	風で動くおもちゃの製作	廣瀬
平成28年度	4月23日(土)	「??で動く牛乳パックカー」「チューブプレーン(紙飛行機)」	廣瀬
平成29年度	4月22日(土)	ミニ風車を作ろう	藤川
平成30年度	4月21日(土)	羽ばたき飛行機の製作	藤川
令和元年度	4月20日(土)	チューブプレーン(リング翼)の製作	廣瀬



「ゾートロープを作ろう」平成27年4月19日(土)



「ミニ風車を作ろう」平成29年4月22日(土)

記念講演会

年 度	実施日	講 演 内 容	講 演 者
平成22年度	7月17日(土)	大阪万博から上海万博へ (創立20周年記念講演)	昭和女子大学 教授 佐野武仁
平成23年度	——		
平成24年度	——		
平成25年度	4月14日(日)	子どもたちに興味を持たせるテクニック	バンドー神戸市立青少年科学館 サイエンスコーディネーター 斎藤賢之輔
平成26年度	4月19日(土)	骨惜しみせずの私と仕事	ミツ精機株式会社 相談役 三津 清
平成27年度	4月18日(土)	すべてはお客様に喜んでいただくために!	ムネ製薬株式会社 副会長 宗 泰一
平成28年度	4月23日(土)	我社の技能教育	株式会社サンワ製作所 相談役 石井良宗
平成29年度	4月22日(土)	目を護る企業 山本光学の100年	山本光学株式会社 相談役 山本為信
平成30年度	4月21日(土)	淡路島のお線香の歴史とその原料	株式会社薫寿堂 会長 福永 実
令和元年度	4月20日(土)	エネルギーの話	指導員 藤川卓爾



「骨惜しみせずの私と仕事」
平成26年4月19日(土)



「我社の技能教育」
平成28年4月23日(土)



「目を護る企業 山本光学の100年」
平成29年4月22日(土)

出前講座

淡路少年少女発明クラブでは、クラブ員を対象とした活動だけでなく、淡路市内の小中学校を対象とした「出前講座」を、平成19年度から平成30年度まで実施してきました。

平成24年度からは、「ロボットを知ろう」をテーマに、二足歩行ロボットのプログラミングを中心とした講座を実施しました。



平成26年6月4日(水) 生穂小学校



平成27年5月13日(水) 北淡中学校



平成29年6月 「ロボットカーのセンサー制御に挑戦」



平成28年5月 岩屋中学校



平成26年12月10日(水) 塩田小学校

出前工作

平成25年度

活動日	場 所	工作テーマ
6月15日(土)	岩屋公民館	手作りカメラを作ろう

平成26年度

活動日	場 所	工作テーマ
6月21日(土)	岩屋公民館	ゾートロープを作ろう

平成27年度

活動日	場 所	工作テーマ
6月13日(土)	岩屋公民館	風で動くおもちゃを作ろう
11月14日(土)	中央公民館	風で動くおもちゃを作ろう

平成28年度

活動日	場 所	工作テーマ
6月5日(日)	安乎小学校	ゾートロープを作ろう

平成30年度

活動日	場 所	工作テーマ
11月3日(祝)	東浦公民館	ゾートロープを作ろう
12月12日(水)	北淡小学校	教訓茶わんを作ろう
12月25日(火)	一宮公民館	教訓茶わんを作ろう
1月23日(水)	北淡総合福祉センター	モビールを作ろう
2月9日(土)	中央公民館	ゾートロープを作ろう

令和元年度

活動日	場 所	工作テーマ
11月2日(土)	東浦公民館	紙コップフリスビーを作ろう 教訓茶わんを作ろう
12月11日(水)	北淡小学校	ペーパータワーを作ろう
12月25日(水)	一宮公民館	ペーパータワーを作ろう
1月29日(水)	北淡総合福祉センター	風船ヘリコプターを作ろう ストローラッパを作ろう
2月8日(土)	中央公民館	教訓茶わんを作ろう ストローラッパを作ろう



「ゾートローブを作ろう」 中央公民館 平成30年2月9日(土)



「紙コップフリスビーを作ろう」「教訓茶わんを作ろう」
東浦公民館 令和元年11月2日(土)

企画運営委員・指導員名簿

平成22年度

役職	氏名	所属
会長	森 和重	淡路市教育長
副会長 企画運営委員長	堀口 純	前津名生穂郵便局長
副委員長	石井 良宗	三和製作所会長
企画運営委員	岬 和宏	ミサキ電機社長
企画運営委員	野上 英次	栄自動車社長
企画運営委員	水本 公治	県発明協会専務理事
企画運営委員	三津 清	ミツ精機会長
企画運営委員	佐野 武仁	昭和女子大大学院教授
指導員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
指導員	西川 玉士	岩屋中学校校長
指導員	小堀 禎員	釜口小学校校長
指導員	向田 卓司	生穂小学校教頭
指導員	石井 良和	元三和製作所
指導員	中之内 肇	美聲堂
指導員	春木 正己	そろばん塾経営
指導員	立谷 林也	淡路市嘱託職員
指導員	森岡 達	元三洋電機企画開発部門
事務局	安藤 浩司	淡路市立中央公民館館長

平成24年度

役職	氏名	所属
会長	高田貴代志	淡路市教育長
副会長 企画運営委員長	堀口 純	元ユーザック電子工業(株)特許担当
副委員長	石井 良宗	三和製作所会長
企画運営委員	三津 清	ミツ精機相談役
企画運営委員	宗 泰一	ムネ製菓副会長
企画運営委員	水本 公治	県発明協会専務理事
企画運営委員	山本 為信	山本光学(株)社長
企画運営委員	佐野 武仁	昭和女子大大学院教授
企画運営委員	梅原 隆之	元梅原鉄工所専務
指導員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
指導員	西川 玉士	大町小学校長
指導員	小堀 禎員	志筑小学校長
指導員	向田 卓司	生穂小学校教頭
指導員	石井 良和	元三和製作所専務
指導員	中之内 肇	美聖堂
指導員	春木 正己	そろばん塾経営
指導員	立谷 林也	淡路市嘱託職員
指導員	森岡 達	元三洋電機開発統括部長
事務局	岩井 孝弘	淡路市立中央公民館館長

平成23年度

役職	氏名	所属
会長	高田貴代志	淡路市教育長
副会長 企画運営委員長	堀口 純	元ユーザック電子工業(株)特許担当
副委員長	石井 良宗	三和製作所会長
企画運営委員	三津 清	三津精機相談役
企画運営委員	宗 泰一	ムネ製菓副会長
企画運営委員	水本 公治	県発明協会専務理事
企画運営委員	山本 為信	山本光学(株)社長
企画運営委員	佐野 武仁	昭和女子大大学院教授
企画運営委員	梅原 隆之	元梅原鉄工所専務
指導員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
指導員	西川 玉士	大町小学校長
指導員	小堀 禎員	志筑小学校長
指導員	向田 卓司	生穂小学校教頭
指導員	石井 良和	元三和製作所専務
指導員	中之内 肇	美聲堂
指導員	春木 正己	そろばん塾経営
指導員	立谷 林也	淡路市嘱託職員
指導員	森岡 達	元三洋電機開発統括部長
事務局	奥田 篤	淡路市立中央公民館館長

平成25年度

役職	氏名	所属
会長	高田貴代志	淡路市教育長
会長代理 企画運営副委員長	堀口 純	元ユーザック電子工業(株)特許担当
副会長(企業)	三津 清	ミツ精機相談役
企画運営副委員長	石井 良宗	三和製作所会長
副会長	梅原 隆之	元北淡RC所長
企画運営委員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
企画運営委員	水本 公治	県発明協会専務理事
企画運営委員	佐野 武仁	昭和女子大大学院教授
企画運営委員	宗 泰一	ムネ製菓副会長
企画運営委員	山本 為信	山本光学(株)社長
企画運営委員	石井 良和	元三和製作所専務
企画運営委員	西川 玉士	元淡路市立小学校校長
指導員	春木 正己	そろばん塾経営
指導員	森岡 達	元三洋電機開発統括部長
指導員	小堀 禎員	元志筑小学校長
指導員	中之内 肇	美聲堂
指導員	向田 卓司	富島小学校教頭
指導員	立谷 林也	淡路市嘱託職員
指導員	堂脇 繁三	元中田小学校長
事務局	佐藤 富夫	淡路市立中央公民館館長

平成26年度

役職	氏名	所属
会長	三津 清	ミツ精機相談役
顧問	高田貴代志	淡路市教育長
顧問	小堀 禎員	元淡路市立小学校校長
会長代理 企画運営副委員長	堀口 純	元ユーザック電子工業(株) 特許担当
副会長 企画運営委員	宗 泰一	ムネ製薬副会長
副会長 企画運営委員	梅原 隆之	元北淡RC所長
副会長 企画運営委員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
企画運営副委員長	石井 良宗	三和製作所相談役
企画運営委員	山本 為信	山本光学(株)会長
企画運営委員	水本 公治	県発明協会専務理事
企画運営委員	佐野 武仁	昭和女子大大学院教授
企画運営委員	西川 玉士	元淡路市立小学校校長
企画運営委員	春木 正己	そろばん塾経営
指導員	石井 良和	元三和製作所専務
指導員	森岡 達	元三洋電機開発統括部長
指導員	中之内 肇	美聲堂
指導員	向田 卓司	富島小学校校長
指導員	立谷 林也	淡路市嘱託職員
事務局	宮前 定生	淡路市立中央公民館館長

平成27年度

役職	氏名	所属
会長	三津 清	ミツ精機相談役
顧問	廣田 利幸	淡路市教育長
会長代理 企画運営副委員長	堀口 純	元ユーザック電子工業(株) 特許担当
企画運営副委員長	石井 良宗	三和製作所相談役
副会長 企画運営委員	宗 泰一	ムネ製薬副会長
副会長 企画運営委員	梅原 隆之	元北淡RC所長
副会長 企画運営委員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
企画運営委員	山本 為信	山本光学(株)相談役
企画運営委員	水本 公治	県発明協会専務理事
企画運営委員	佐野 武仁	昭和女子大大学院教授
企画運営委員	西川 玉士	元淡路市立小学校校長
企画運営委員	春木 正己	元そろばん塾経営
指導員	石井 良和	元(株)三和製作所専務
指導員	森岡 達	元三洋電機開発統括部長
指導員	中之内 肇	美聲堂
指導員	向田 卓司	富島小学校校長
指導員	立谷 林也	淡路市嘱託職員
指導員	井上 善人	水仙の丘オーナー
指導員	荒木 佑介	佐野郵便局長
指導員	原田 隆弘	仮屋郵便局長
事務局	坂口 完治	淡路市立中央公民館館長

平成28年度

役職	氏名	所属
会長	宗 泰一	ムネ製薬副会長
会長代理 企画運営副委員長	堀口 純	元ユーザック電子工業(株) 特許担当
企画運営副委員長	石井 良宗	三和製作所会長
副会長 企画運営委員	梅原 隆之	元北淡RC所長
副会長 企画運営委員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
企画運営委員	三津 清	ミツ精機相談役
企画運営委員	西川 玉士	元淡路市立小学校校長
企画運営委員	春木 正己	元そろばん塾経営
企画運営委員	水本 公治	県発明協会専務理事
企画運営委員	佐野 武仁	昭和女子大大学院教授
企画運営委員	山本 為信	山本光学(株)相談役
企画運営委員	津田 豊	(株)ツダ社長
指導員	石井 良和	元(株)三和製作所専務
指導員	中之内 肇	美聲堂
指導員	向田 卓司	佐野小学校校長
指導員	立谷 林也	淡路市嘱託職員
指導員	井上 善人	水仙の丘オーナー
指導員	荒木 佑介	佐野郵便局長
指導員	原田 隆弘	仮屋郵便局長
指導員	来田 大輔	一宮小学校教諭
指導員	船越 丈司	塩田小学校教諭
指導員	廣田 利幸	淡路市教育長
事務局	坂口 完治	淡路市立中央公民館館長

平成29年度

役職	氏名	所属
会長	宗 泰一	ムネ製薬副会長
会長代理 企画運営副委員長	堀口 純	元ユーザック電子工業(株) 特許担当
企画運営副委員長	石井 良宗	(株)三和製作所相談役
副会長 企画運営委員	梅原 隆之	元北淡RC所長
副会長 企画運営委員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
企画運営委員	三津 清	ミツ精機(株)相談役
企画運営委員	西川 玉士	元淡路市立小学校校長
企画運営委員	春木 正己	元そろばん塾経営
企画運営委員	水本 公治	県発明協会専務理事
企画運営委員	山本 為信	山本光学(株)相談役
企画運営委員	津田 豊	(株)ツダ社長
企画運営委員	藤川 卓爾	元三菱重工タービン技術部長
指導員	石井 良和	元(株)三和製作所専務
指導員	中之内 肇	美聲堂
指導員	向田 卓司	大町小学校校長
指導員	立谷 林也	淡路市嘱託職員
指導員	井上 善人	水仙の丘オーナー
指導員	荒木 佑介	佐野郵便局長
指導員	原田 隆弘	仮屋郵便局長
指導員	来田 大輔	一宮小学校教諭
指導員	船越 丈司	塩田小学校教諭
指導員	廣田 利幸	淡路市教育長
事務局	坂口 完治	淡路市立中央公民館館長

平成30年度

役 職	氏 名	所 属
会 長	宗 泰一	ムネ製菓(株)副会長
会 長 代 理	堀口 純	元ユーザック電子工業(株) 特許担当
企画運営副委員長		
企画運営副委員長	石井 良宗	(株)三和製作所相談役
副 会 長	廣瀬 幸治	元廣瀬一級建築士事務所長
企画運営委員		
企画運営委員	三津 清	ミツ精機(株)相談役
企画運営委員	山田 一夫	淡路市教育長
企画運営委員	田中 雅道	県発明協会専務理事
企画運営委員	山本 為信	山本光学(株)相談役
企画運営委員	津田 豊	(株)ツダ社長
企画運営委員	春木 正己	元そろばん塾経営
企画運営委員	藤川 卓爾	元三菱重工タービン技術部長
指 導 員	西川 玉士	元小学校校長
指 導 員	石井 良和	元(株)三和製作所専務
指 導 員	中之内 肇	美聲堂
指 導 員	立谷 林也	淡路市教育委員会
指 導 員	井上 善人	水仙の丘オーナー
指 導 員	荒木 佑介	佐野郵便局長
指 導 員	原田 隆弘	仮屋郵便局長
指 導 員	来田 大輔	一宮小学校教諭
指 導 員	船越 丈司	塩田小学校教諭
指 導 員	水本 公治	県発明協会前専務理事
指 導 員	森本 充治	前学校教師
指 導 員	岡野 智恵	淡路市教育委員会
指 導 員	山口 雅彦	イー・アイ オーナー
事 務 局	下原 益代	淡路市立中央公民館館長

令和元年度

役 職	氏 名	所 属
会 長	宗 泰一	ムネ製菓(株)副会長
会 長 代 理	堀口 純	元ユーザック電子工業(株) 特許担当
企画運営副委員長		
企画運営副委員長	石井 良宗	(株)三和製作所相談役
副 会 長	廣瀬 幸治	元廣瀬一級建築士事務所長
企画運営委員		
企画運営委員	三津 清	ミツ精機(株)相談役
企画運営委員	山田 一夫	淡路市教育長
企画運営委員	田中 雅道	県発明協会専務理事
企画運営委員	山本 為信	山本光学(株)相談役
企画運営委員	津田 豊	(株)ツダ社長
企画運営委員	春木 正己	元そろばん塾経営
企画運営委員	藤川 卓爾	元三菱重工タービン技術部長
企画運営委員	丸林 貴博	Marubayashi (草作家)
指 導 員	西川 玉士	元小学校校長
指 導 員	石井 良和	元(株)三和製作所専務
指 導 員	中之内 肇	美聲堂
指 導 員	立谷 林也	淡路市教育委員会
指 導 員	井上 善人	水仙の丘オーナー
指 導 員	荒木 佑介	佐野郵便局長
指 導 員	原田 隆弘	仮屋郵便局長
指 導 員	来田 大輔	一宮小学校教諭
指 導 員	船越 丈司	塩田小学校教諭
指 導 員	水本 公治	県発明協会前専務理事
指 導 員	森本 充治	前学校教師
指 導 員	岡野 智恵	淡路市教育委員会
指 導 員	山口 雅彦	イー・アイ オーナー
事 務 局	平野 由香	淡路市立中央公民館館長

クラブ員名簿

平成22年度

氏名	学校	学年	性別
奥井 翔麻	北淡小学校	3年	男
高田 陽介	生穂小学校	3年	男
城田 凌侑	中田小学校	3年	男
宮田 天生	学習小学校	3年	男
今北 知宏	志筑小学校	3年	男
谷 光一郎	志筑小学校	3年	男
正司 智也	志筑小学校	3年	男
池尻垂有基	志筑小学校	3年	男
仲井 夏騎	大町小学校	4年	男
植松 竜也	志筑小学校	4年	男
松田 早恵	生穂小学校	4年	女
藤本 羽海	多賀小学校	4年	男
植松 大輝	志筑小学校	5年	男
川野真由香	大町小学校	5年	女
廣田 敦士	多賀小学校	5年	男
飯田 修右	北淡小学校	6年	男

平成23年度

氏名	学校	学年	性別
島田 智弘	郡家小学校	3年	男
三津 徹大	郡家小学校	3年	男
河野 朱里	生穂小学校	3年	女
今北 知宏	志筑小学校	4年	男
永田 快葉	釜口小学校	4年	女
池尻垂有基	志筑小学校	4年	男
谷 光一郎	志筑小学校	4年	男
庄司 智也	志筑小学校	4年	男
志方 宏彰	塩田小学校	4年	男
岡田 威風	中田小学校	4年	男
立山 潮	志筑小学校	4年	男
高田 陽介	生穂小学校	4年	男
山口 将輝	生穂小学校	4年	男
植松 竜也	志筑小学校	5年	男
河野 恵利	生穂小学校	5年	女
柏木 美樹	生穂小学校	5年	女
入野 裕也	志筑小学校	5年	男
下川 航平	浦小学校	5年	男
仲井 夏騎	大町小学校	5年	男
大田 晃生	浦小学校	5年	男
植松 大輝	志筑小学校	6年	男
廣田 敦士	多賀小学校	6年	男
入野 雄也	志筑小学校	6年	男

平成24年度

氏名	学校	学年	性別
正井 陽寧	育波小学校	3年	女
尾崎 陽	浦小学校	3年	男
小野 雄大	志筑小学校	3年	男
清水 智貴	学習小学校	3年	男
正司 智也	志筑小学校	4年	男
三津 徹大	郡家小学校	4年	男
戸田 樹	志筑小学校	4年	男
大久保潮音	生穂小学校	4年	男
今北 知宏	志筑小学校	5年	男
土井 菜優	学習小学校	5年	女
東根さくら	学習小学校	5年	女
高田 陽介	生穂小学校	5年	男
山口 将輝	生穂小学校	5年	男
山本 紗綺	学習小学校	5年	女
岡田 威風	中田小学校	5年	男
植松 竜也	志筑小学校	6年	男
下川 航平	浦小学校	6年	男
太田 晃生	浦小学校	6年	男
戸田 百香	志筑小学校	6年	女
田部 颯大	浦小学校	6年	男
仲井 夏騎	大町小学校	6年	男

平成25年度

氏名	学校	学年	性別
佐藤 希興	多賀小学校	3年	男
岡本 和優	浦小学校	3年	男
田中 陽丞	志筑小学校	3年	男
濱田真太郎	学習小学校	3年	男
濱岡 隆旨	郡家小学校	3年	男
井上 柊磨	浦小学校	3年	男
門 真洋	石屋小学校	3年	男
北畑 有唯	多賀小学校	3年	女
西住 希望	郡家小学校	3年	女
池田 媛乙	多賀小学校	3年	女
岡山実咲希	北淡小学校	3年	女
松井 莞泰	中田小学校	3年	男
久保さくら	生穂小学校	4年	女
林田 明莉	浦小学校	4年	女
三津 徹大	郡家小学校	5年	男
水坪 稜翔	生穂小学校	5年	男
金山 智哉	石屋小学校	6年	男
黒地 琉晟	尾崎小学校	6年	男
沖 侑美	室津小学校	6年	女

平成26年度

氏名	学校	学年	性別
田原 諒子	一宮小学校	3年	女
田原 謙一	一宮小学校	3年	男
岡山奈津希	北淡小学校	3年	女
仲田 大翔	生穂小学校	3年	男
大前 レン	江井小学校	3年	男
永田 冬吾	釜口小学校	3年	男
濱岡 隆旨	一宮小学校	4年	男
岡山実咲希	北淡小学校	4年	女
藤田 和希	学習小学校	4年	女
上宮 聡太	一宮小学校	4年	男
橋本 陽	志筑小学校	4年	男
齋藤 碧巴	大町小学校	4年	男
堀口 拓人	志筑小学校	4年	男
広嶋 聖也	一宮小学校	4年	男
田中 優望	多賀小学校	4年	男
中川 裕貴	一宮小学校	6年	男
金山 智哉	岩屋中学校	1年	男
黒地 琉晟	一宮中学校	1年	男

平成27年度

氏名	学校	学年	性別
大植 悠利	一宮小学校	3年	男
高田 千鶴	塩田小学校	3年	女
高浜 能丸	佐野小学校	3年	男
荒木 耀介	佐野小学校	3年	男
岡田 悠伸	佐野小学校	3年	男
井高凜太郎	北淡小学校	3年	男
岡山奈津希	北淡小学校	4年	女
仲田 大翔	生穂小学校	4年	男
永田 冬吾	釜口小学校	4年	男
富本 悠生	安乎小学校	4年	男
田村 楽	生穂小学校	4年	男
岡山実咲希	北淡小学校	5年	女
藤田 和希	学習小学校	5年	女
上宮 聡太	一宮小学校	5年	男
齋藤 碧巴	大町小学校	5年	男
堀口 拓人	志筑小学校	5年	男
広嶋 聖也	一宮小学校	5年	男
田中 優望	多賀小学校	5年	男
大屋 輝寿	志筑小学校	5年	男
岡田 遊快	洲本第三小学校	6年	男
金山 智哉	岩屋中学校	2年	男

平成28年度

氏名	学校	学年	性別
本田 和奏	生穂小学校	3年	女
富永 柚太	一宮小学校	3年	男
澤田 和於	北淡小学校	3年	男
藤若 遥香	生穂小学校	3年	女
西沢 啓吾	北淡小学校	3年	男
大植 悠利	一宮小学校	4年	男
井岡 俊介	塩田小学校	4年	男
濱野 あや	浦小学校	4年	女
本田 心美	生穂小学校	4年	女
岡山奈津希	北淡小学校	5年	女
仲田 大翔	生穂小学校	5年	男
富本 悠生	安乎小学校	5年	男
田村 楽	生穂小学校	5年	男
奥田 蓮	生穂小学校	5年	男
岡山実咲希	北淡小学校	6年	女
藤田 和希	学習小学校	6年	女
上宮 聡太	一宮小学校	6年	男
齋藤 碧巴	大町小学校	6年	男
堀口 拓人	志筑小学校	6年	男
広嶋 聖也	一宮小学校	6年	男
田中 優望	多賀小学校	6年	男

平成29年度

氏名	学校	学年	性別
魚 静真	一宮小学校	3年	男
本田 蒼真	洲本第二小学校	3年	男
内田 織人	志筑小学校	3年	男
広狩 陽己	中田小学校	3年	男
藤本サミル佑	育波小学校	3年	男
東谷明日加	大町小学校	3年	女
東谷紗也加	大町小学校	3年	女
藤本 雄斗	北淡小学校	3年	男
山本 奏太	浦小学校	3年	男
栗田 敬斗	一宮小学校	3年	男
高田 貞毅	石屋小学校	3年	男
福岡 詩隆	塩田小学校	3年	男
花立 佳大	一宮小学校	3年	男
本田 和奏	生穂小学校	4年	女
奥田 蓮	生穂小学校	4年	男
藤若 遥香	生穂小学校	4年	女
澤田 和於	北淡小学校	4年	男
西沢 啓吾	北淡小学校	4年	男
川添 寛太	洲本第二小学校	4年	男
網城 結唯	中田小学校	4年	女
徳田百々佳	石屋小学校	4年	女
森下 結佳	石屋小学校	4年	女
橋本 涼太	志筑小学校	4年	男
志田 安寿	生穂小学校	4年	女
宮本 悠羽	志筑小学校	4年	女
本田 心美	生穂小学校	5年	女
大植 悠利	一宮小学校	5年	男
仲田 大翔	生穂小学校	6年	男
富本 悠生	安乎小学校	6年	男
田村 楽	生穂小学校	6年	男
森 貴将	多賀小学校	6年	男
志田 真人	生穂小学校	6年	男
石橋 美史	安乎小学校	6年	男

平成30年度

氏名	学校	学年	性別
永田 愛翔	北淡小学校	3年	女
永田 陽愛	北淡小学校	3年	女
吉田 要	石屋小学校	3年	男
漣 莉緒	北淡小学校	3年	女
高田 侑樹	一宮小学校	3年	男
上野 滢	志筑小学校	3年	女
川越 萌叶	志筑小学校	3年	女
岸本 幸晟	大野小学校	3年	男
原田 直実	北淡小学校	3年	女
小縣 有夢	志筑小学校	3年	女
新垣七琉子	北淡小学校	3年	女
國本 龍暉	志筑小学校	3年	男
大杖蒼一郎	一宮小学校	3年	男
岡田 宗士	学習小学校	3年	男
北村 龍玖	浦小学校	3年	男
魚 静真	一宮小学校	4年	男
本田 蒼真	洲本第二小学校	4年	男
内田 織人	志筑小学校	4年	男
広狩 陽己	中田小学校	4年	男
藤本サミル佑	北淡小学校	4年	男
東谷明日加	大町小学校	4年	女
東谷紗也加	大町小学校	4年	女
栗田 敬斗	一宮小学校	4年	男
魚住 龍司	一宮小学校	4年	男
吉田 司道	浦小学校	4年	男
紙田蒼一郎	洲本第二小学校	4年	男
坂本 蒼磨	中川原小学校	4年	男
奥田 蓮	津名東小学校	5年	男
西沢 啓吾	北淡小学校	5年	男
川添 寛太	洲本第二小学校	5年	男
地村 啓冬	洲本第二小学校	5年	女
浅山 壺斗	大野小学校	5年	男
大植 悠利	一宮小学校	6年	男
古南 竜輝	浦小学校	6年	男

令和元年度

氏名	学校	学年	性別
川添 徹	洲本第二小学校	3年	男
井上琥太郎	石屋小学校	3年	男
岩坪 樹	津名東小学校	3年	男
芳谷 和胡	加茂小学校	3年	女
長野 葵	石屋小学校	3年	女
杉谷 大和	中華同文小学校	3年	男
丸林 東真	鳥飼小学校	3年	男
岸本 悠廉	石屋小学校	3年	男
吉田 要	石屋小学校	4年	男
原田 直実	北淡小学校	4年	女
新垣七琉子	北淡小学校	4年	女
大杖蒼一郎	一宮小学校	4年	男
魚 静真	一宮小学校	5年	男
広狩 陽己	中田小学校	5年	男
藤本サミル佑	北淡小学校	5年	男
紙田蒼一郎	洲本第二小学校	5年	男
坂本 蒼磨	中川原小学校	5年	男
野崎 慈舟	志筑小学校	5年	男
濱田 茜	北淡小学校	5年	女
東 珀斗	多賀小学校	5年	男
澤田 和於	北淡小学校	6年	男
奥田 蓮	津名東小学校	6年	男
川添 寛太	洲本第二小学校	6年	男
古南 竜輝	東浦中学校	1年	男

運営からのメッセージ



前途多難でも 将来に期待したい

会長代理・
企画運営委員・指導員

堀口 純

このクラブは、現時点で32年を経過しようとしています。創立以来、ご支援ご協力頂いた多くの団体、会社、関係者に運営・指導者の一員として心より感謝しています。

入会するクラブ員は、淡路市内全域と洲本市から数名であり、保護者の熱心なサポートを得ながら楽しく行事に参加し、その作品は、コンクールで連年入賞者を輩出しています。

さて、将来を見据えた時、クラブ入部児童数は、過去の実績から安定的に期待できますが、運営指導面での体制・企画運営委員や指導員の人材確保は、当面の大きな課題となっています。全国では公的機関が運営を担うクラブがあって、体制固めは盤石です。ところが当クラブは、所謂、任意団体でボランティアの有志が運営の主体となっています。創立当初の意気込みを忘れず官・学・産の各分野で活躍中の現職、OBの皆さまが多数関心を持ち当クラブの運営に取り組んでいただけるよう切に願う次第です。このクラブ発足の主旨は、淡路島島内に知識集約型地場産業の創業者を生むためであり、地域住民がそれによって幸せな生活を送れるようにしようとするものであったことを忘れてはならないと思います。



これからの10年に期待して、 そして楽しみたい

副会長・
企画運営委員・指導員

廣瀬 幸治

振り返ってみますと、発足から15年は津名町の時代で、津名町長が会長となり事務局も教育委員会が主体となって運営をしていましたので、指導員はクラブ員相手の活動に専念できていた時代と言えます。

淡路市となってから運営方針が変わり始め、20周年以降は行政の関与が徐々に遠退いて事務局を辛うじてお願いしていただいています。その業務の殆どは指導員数名で分担をして運営をして来たと言う10年でした。

児童相手の活動ですので、教育委員会との関係は良好でなくてはなりません。今後も理解をいただく為の努力は惜しみません。

クラブの運営面、活動内容の改善を検討し始めて以来、発明クラブの認知度の向上を実感しています。地元企業からの応援も有り感謝をしているところです。

また、保護者の皆さんに活動への参加を呼びかけて、その効果も感じられてきています。今後の10年はクラブ員の減少と指導員の高齢化が大きな課題ですので、対応策を早急に考えなければならないと思っています。

クラブの皆様と共に知恵を出し合って参ります。



淡路少年少女発明クラブ 創立30周年を祝して

指導員

石井 良和

志筑公民館の関係で、石上晋先生に誘われて、淡路少年少女発明クラブに指導者として参加させていただくことが出来ました。小さい頃から工作が好きで、道具工具などを扱うことが得意だと思っていたので、何か役に立つのではないかと思った。小学校高学年のころ、父親が鉄工所を経営していたので、工場で折れた鋸刃を利用して、グラインダー砥石を使用して小刀を製作した。先輩に連れられて山へ行き、竹を切ってきて釣竿を作り、ウキを作って池でフナ釣りをした。竹とんぼや竹笛を作って遊んだ。木の板を切って、道具箱や本立てを作った。夏には、ゴム式の銃をつくり、海に潜って魚を捕えた。

65歳定年退職後、津名町の施設、レトロ体験村の村長を5年つとめた。そこには、古い昔の農機具が保管されていた。蓑と笠、田植えつな、千歯こぎ、木で作ったくわ、唐箕、水車、足ふみ脱穀機、押し切り等である。これらは先人たちが、長年かけて、工夫に工夫を重ねて作り上げてきたノウハウの塊で、発明クラブの原点が、そこにあると思います。毎年行われる工場見学、会社公共施設見学、島外体験学習などは良い企画だと思います。そこで何を学んだかを大いにデスクッションし、ものづくりに利用すれば良いと思います。



思い付いたら、 兎に角すぐ行動を

指導員

中之内 肇

今回このクラブの創立30周年記念の発行に当たり寄稿させていただきます。

旧津名町長柏木氏・関係有志並びに現堀口様始め多くの過去の指導者様たちの長きにわたる活動により全国的にも知名度の高いクラブになっております。

私事ですが私の孫も過去にお世話になりまして現在は27才・26才に成長し社会人として日々精勤しています。その孫との会話の中で時折このクラブの思い出話が出て懐かしく話しをします。

現在私は健康上の理由で夢絵画講座のみの参加協力にさせて頂き各指導者様に大変ご迷惑をかけて申し訳なく思っております。

このクラブは日常生活の中で「チョット」した気付きや発想が新たな創意工夫を生み学童自身はもとより家族含め全員参加で協力して物を完成させていくのが素晴らしいと思います。

又学校教育とは一味違う分野での校外学習としてのこのクラブの存在価値があると思います。参加している学童は各講座で一般社会人の指導員に指導を受け同時に他校の学童との親睦により知見の広がりにも一役買っています。講座内容により事象の観察や考察及びその制作等々の過程を経て達成していく感動が体現出来ると思います。

このクラブに参加した学童はここで経験した事はこれからの長い人生の「ほんの一瞬」の期間ですが今から成長していく過程で何かの「ヒント」になって頂ければこのクラブ活動として望外に思います。

私は社会活動の一端としてこのクラブの一員とし関わる機会を得まして光栄に思い感謝しています。有難う御座いました。



経験は宝もの

企画運営委員・指導員

春木 正己

私は物作りが大好きです。友人が発明クラブの指導員として活躍されておられ、お誘い頂いて、15年間子供たちと触れ会って参りました。

子供たちの思考力は素晴らしく、特に動く工作に関心を持ち笑顔一杯の教室になります。それらを元に試行錯誤を重ねられた製品が世の中のあらゆる分野で利用されている事も多く有ると思います。

如何に興味を示し、やりたい気持ちを引き出す誘導指導、楽しい感覚、大丈夫やれば出来る完成の喜びが自信に繋がる、継続力など。

子供たちの創造の活力になる様、心の伝達が本当に難しく痛感しています。

教室では刃物・危険が伴う電動工具などの基礎指導（KYT）を行っています。

三年生の入部時はたどたどしいですが、六年生修了には工具を上手に扱える様に成長しています。経験は何一つの無駄なく自分の歩む道に生かされます。

楽しく物作りが出来る様に支援して参りたいと思います。



子どもたちに 「ものづくり」の楽しさを

企画運営委員・指導員

藤川 卓爾

少年少女発明クラブは、発明協会創立70周年の記念事業の一環として、1974年にスタートした事業です。2019年度現在、全国47都道府県に209か所、約10,000名の子どもたちと約2,900名の指導員が活動しています。創立当時の発明協会会長でソニー創業者の故 井深大氏は、日本が将来にわたり科学技術創造立国として持続的な発展を実現するには、「ものづくり」に携わる人材の育成が不可欠であり、次代を担う青少年に、「ものづくり」に親しむ環境を整えることが重要であると提唱しました。

淡路少年少女発明クラブはそれから16年後の1990年に創立されました。全国のクラブの中でも比較的古い方ではないかと思えます。

私は5歳まで淡路島で育ちました。その後は大阪、京都、長崎、横浜とずっと島外で暮らしています。社会人としては製造業で「ものづくり」に携わりました。リタイア後の時間の幾分かを「生まれ故郷への恩返し」のために使えないかと思い、縁あって2017年度からクラブの仲間に加えていただきました。

最初の年は「ミニ風車」、「コイルモーター」、「アクロバット人形」を作りました。「ミニ風車」は誰が作っても良く回ります。「コイルモーター」は難しいところがあり、上手く回らない子がいましたが最後によく回りました。「アクロバット人形」は材料の準備が大変でしたが仲間の皆さんに手伝ってもらいました。次の年は市販のキットを使って「はばたき飛行機」と「ライト兄弟の複葉機」を作りました。3年目は「縄跳び人形」と「メビウスの輪、ミウラ折り」を作りました。

完成したときの子どもたちの嬉しそうな顔を見るとそれまでの苦勞が報われます。これからも子どもたちが「ものづくり」の楽しさを経験できるように努めていきたいと思えます。



自然観察や試作の経験が 生きてくる

指導員

廣田 睦明

私は令和4年5月からの指導員です。終戦直後の生まれなので、子供の頃に発明クラブはありませんでした。ただクラブの書庫にある「子供の科学」は中学生の頃から読んでおりました。

最近の小学生は学習塾やスポーツクラブなどに忙しく、発明クラブに使える時間は限られるでしょうね。私の子供もそんな中でゲーム機に熱中して友達と遊んでおりました。これを否定するつもりはありませんが、限られた時間をもっと他に使えるのにと残念に思ったものです。

現在ネット検索でいろいろな情報を得ることができます。情報を集めることは重要ですが、これを知識としてとらえるだけでは単なる物知りに過ぎません。これをよく検討して使える情報にしておくことが重要です。そのためには試作や、類似の自然観察など自分の眼や体で経験したものと関連付けておくことが大切です。

後に研究や仕事をするときこの経験が現象理解や課題解決のヒントになります。類推により考えを発展できます。子供達には自然観察や試作などを通して多くの生きた経験を身に付けてほしいです。発明クラブはその良い機会を与えてくれますので、高学年になってもクラブを続け、発明を習慣にしてくれることを願っております。



ものづくりから学んだ 経験を大切に

企画運営委員・指導員

丸林 貴博

淡路少年少女発明クラブ創立30周年、おめでとうございます。

令和元年に息子がクラブに入部したのを機に指導員としてのお誘いをうけ、現在に至るまでお手伝いをさせていただいています。

私自身、昔から物を作るという仕事に携わってきましたので、少しでもお役立ちできればと思っています。

今の社会は、物や情報が溢れているのが当たり前となり、子ども達が自ら創作する機会も減っていますが、クラブでものづくりをしている子ども達は、とても楽しそうに目が輝いています。

子ども達の自由な発想には、私たち指導員も刺激を受け、たくさんの学びを与えてもらっています。

発明クラブでは、工具の基本的な使い方も指導しています。子ども達の発想や創作の幅を広げるために、学校や家庭では見かけないような工具も使用しながら活動しています。

子ども達がものづくりを通じて、喜びや発見、苦しみなど、学校とはまた違った体験をたくさんしてほしいと思います。そして、発明クラブで得た経験を活かし、色々な分野で活躍されることを期待しています。



淡路少年少女発明クラブ 創立30周年を祝して

指導員

水本 公治

創立30周年を心からお祝い申し上げます。

30年の長きにわたり、クラブの運営、クラブ員の指導に当たられた諸先輩方のご苦勞、ご努力に敬意を表します。

私は、発明協会の職員として、発明クラブの支援に係わってきましたが、この数年は、指導者としてお手伝いさせていただいていますが、創立後30年と言えば、この間我が国の経済成長は、戦後最長と言われながらも一方で失われた30年ともいわれ、数々の成長戦略が立案されたにも関わらず、高齢化少子化、人口減少と成果を上げられずにいます。国の施策も受験システムの改革で受験対策の教育機関は整ってまいりましたが、個人の能力育成のための組織づくりはまだままだの感が有ります。

しかしその間、淡路少年少女発明クラブは、青少年創造性育成のためと淡路市の支援を受けながら、1995年阪神淡路大震災の経験を糧に、震災対策のアイデアやその他温暖化、高齢化、新型コロナ対策のアイデアを数々と生み出す子供たちと共に成長してきました。

高齢化してます指導者の先輩方も、日本全国でご活躍後、ふるさと淡路に戻り、子供たちの指導に当たっておられ、第一次産業が主体の淡路島も、IT産業等の移転で人口も増えつつあり、Iターン人材などで第6次産業へと知的財産を活用した地が変わってきている淡路の力になろうとされています。

私も、テレワークの進展で、淡路島が変わりつつある中、淡路島に培われた歴史研究や新規技術の研究開発等、またサッカーや野球等スポーツ、それぞれの分野で知恵を出し、創造力を活かす発明クラブ育ちの優秀な人材が輩出されることを期待して、いっしょに高齢者の社会活動としても頑張っていきたいと考えています。

先輩クラブ員からのメッセージ

岡山 実咲希

楽しかった発明クラブ

私は、3年生の時から、6年生までの4年間、淡路少年少女発明クラブで活動していました。淡路少年少女発明クラブでは、小学校では学ぶことのできないことをたくさん学んだり、製作したりしました。小学校でできないことなので、難しいと感じることはありましたが、中学生になると自分のためになっているなど感じることも多々ありました。

また、淡路少年少女発明クラブでは、いろんなところに行って学びました。小学校や中学校で絶対には学ばない靴の作り方や、チキンラーメンの作り方も学びに行きました。自分の中では、とても楽しかったです。

淡路少年少女発明クラブで学んだことはとっても自分の役に立っています。

岡山 奈津希

思い出のつまった発明クラブ

私は小学3年生の頃から発明クラブを始めました。発明クラブではまだ使ったことのない道具や機械を使い作業ができてとても楽しく勉強になりました。

その中で一番心に残っていることはアイデア作品の「かたたたき」の作製です。その時、私はどうしたらいいのか分からなくておどおどしていた時に、先生方がすごく優しく教えてくれて作品をきちんと完成させることができました。その作品で賞をもらえて初めてのことばかりだったけど、とてもとても楽しい思い出になりました。

私は発明クラブで使わせていただいた道具や機械を技術の授業などで作業したり使用したりしています。だから、発明クラブで習った使い方などが今でも私の役に立っています。



川添 寛太

淡路少年少女発明クラブに小学4年から6年まで、3年間参加させていただきました。

発明クラブで学んだことは、工作器具の使い方や設計図の書き方など、物作りの基礎技術と、仲間と一緒に物を作る楽しさです。課題工作では、グループの経験者がリーダーとなり、教え合いながら作りました。特にグループで割り箸を使って橋を作り、空中に浮いている長さを競ったりするのが面白かったです。

未来の科学の夢絵画展に向けて、絵の描き方も学びました。南海トラフ巨大地震が起こると聞いて、地震発生時に、屋根から大きな風船を出し、ガスで膨らませて家を宙に浮かせることを絵に描きました。100%揺れない家で奨励賞を取ることができました。

アイデア工作では、指導員の先生方が、分からないところを丁寧に教えてくれたので、どんどん新しく改良することが出来ました。おかげで、急な雨が降っても自動で窓を閉める装置（雨水を集めて、水位の上昇で電流を流す装置 Automatic Window）で、兵庫県学生児童発明くふう展で受賞でき、全日本学生児童発明くふう展でも入選できました。とても嬉しかったです。

発明クラブでは、島内の企業や工場の見学もあり、将来の自分の働く姿を、なんとなくイメージできました。今、受験勉強をやっていますが、これらの体験が勉強の原動力にもなっています。長い間お世話になり、ありがとうございました。

上宮 聡太

発明クラブから学んだこと

自分は、この発明クラブで印象深かった事は、自由作品で、世界に一つしかない発明をした事です。3年間で作った作品は全て、大切に今でも使っています。

そしてもう一つ印象に残ったのは、やはり郊外学習です。色んな所で、色々な事を学ぶことができたと思います。

発明クラブに行っていた3年間は、とても楽しいものでした。色々な発明をしたり、時には難しく考え過ぎて、アイデアがでなかった事もありましたが、全てが楽しい思い出です。これからも皆さんに新しい発明を生み出して欲しいと思います。指導して下さった先生方、ありがとうございました。



川添 徹

僕は、発明クラブに入って物作りの考え方、物に対する思考の幅が広がりました。また、クラブの時間の最後には、1人ずつみんなの前で作ったものの感想や難しかったところなど説明するのが、緊張して大変でした。何度もやってるうちにだんだん慣れて人前で分かりやすく説明する力と度胸がついたように思います。

木を使った工作では、ノコギリの使い方を一から習らいました。初めの頃は、上手にまっすぐきれなかったのですが、できるようになりました。鉄のパイプをそれ用のノコギリで切れた時は、とても嬉しかったです。

1番楽しかったのは、アイデア工作です。発明工作の原点、今ある道具で、不便なところをどうすれば、もっと便利になるか考えるようになりました。コロナ禍、学校で、こまめに換気をするようになりました。その時、網戸がないため虫がはいってくるのをなんとかしたくて発明品を考えました。どうしたらいいのかわからなくなった時、指導員の先生が、色々アドバイスをくれたので、作り上げることが出来ました。おかげで全日本学生児童発明工夫展で、入選することができ、新聞や広報誌にも載って、とても嬉しかったです。

僕は、ここでの経験から将来、建築家になりたいとなりました。3年間お世話になりありがとうございました。

藤田 和希

創立30周年、おめでとうございます。

30年も続き、約700名もの修了者を出している事にとっても驚き、そしてそんなクラブに入っていたことを誇りに感じます。

このクラブで学んだのは「創造力」。もともとあるものを、もっと便利にするにはどうすればいいのだろうと今でも少し考えることがあります。これが自然にできれば、将来の大きな希望につながると思います。

いつかまた私が大人になった時、何か恩返しができるればいいなと思っています。

これからも、発明クラブが益々発展することを心から願っています。

魚 静真

発明クラブの思い出

ぼくが3年生の時に入会しました。発明クラブでは、自分で考えた絵が受賞したり、物作りの面白さなどを学びました。様々な見学などに行かしていただきました。

最初の年に、ぼくの書いた「かみなり発電」が受賞しました。ポスターを考える時に、色の使い方や絵のバランスを教えていただきました。

実習では、イスを作ったりしたときに、ノコギリの使い方や木ダボの使い方を教えていただきました。先輩が手伝ってくれた事もありました。

会社見学では、カワサキの海洋博物館や、吹き戻しの里などに行きました。海洋博物館で印象に残っている事は、昔のバイク展示やロボットです。

吹き戻しの里では、実際に吹き戻しを作る体験をして、きれいにまとめる事が難しかった事をおぼえています。

社会見学の時に、発明くふう展の作品も見ることが出来て、他の子のアイデアを考えた事もありました。

最後に、発明クラブに入ってポスターや物作りの基本や面白さを学びました。僕は将来、造船の仕事に関わりたと思っています。発明クラブで習った事、ひらめき、アイデアをこれからも考え、いかすことが出来たら良いなと思います。

金山 智哉

小学校の5年から中学校の3年まで5年間は発明クラブの一員として、高校に入ってからにはボランティアとして時々参加していました。合計8年間は発明クラブの一員でした。

なぜそんな長い間発明クラブにいたのかと言うと、楽しかったからです。

春から夏にかけては真剣に物作り、自分で考え、みんなで考え、先生方に助言をもらい自分の頭の中にあるものを実際に作って形にしていくおもしろさ、自分の考えが現実になるというおもしろさがあります。ここで自分の考えがまとまっていると、できあがった作品が初めに考えていたものと微妙に変わってしまいます。

最初の年はこんなはずではと思いましたが、次の年からは自分の考えているものができるようになりました。先生のおかげです。

夏が終わると郊外学習等のクラブとの交流がメインになっています。

発明クラブに入っていなければ行く事ができなかったヤクルトやチキンラーメンの工場見学、造船所、ダムの見学等、すごく楽しい場所に行けました。

普段僕達が普通に食べているものはとんでもなく大きな工場で自動的にできあがっていくのを見て驚きました。もっとたくさんの方が働いていると思っていたからです。ほんとうに良い思い出ばかりです。

私は極度のあがり症で、人前で話せなかったのに、ここで子ども達と話し合っていて、みんなの意見をまとめていたりすると治っていました。学校で全校生の前でもふつうに話せるようになりました。発明クラブのみんな本当にありがとうございました。

大植 悠利

発明クラブに入って

ぼくは、およそ4年間でさまざまな事を学びました。

例えばのこぎりの使い方や物の名前などを中学校の技術などで活用しています。

この4年間で一番思い出に残ったのは、アイデア工作です。自分の弟の事や家族の事を考えて作ることができました。他にもオリジナル工作や、その他のかだい工作で学んだ事をこれからの生活で生かしたいです。

さらに夢絵画展では、ぼくが小学4年生の時に「海水を動力源とするきゅうじょせん」と言うだいで絵をかいて奨励賞にえらばれました。その時、中之内さんとがんばって絵のこうずをきめたり、内容はどのようなものにするのかをきめた事を思い出しました。

さらに発明クラブで作った本立ては、今もしっかり使われています。他にも木の製品はたくさんつくりましたが、全てが残っていると思います。

4年間ありがとうございました。

廣島 聖也

僕が発明クラブに入部したきっかけは、4年生の時に母から「こんなクラブがあるよ。」と教えてもらい、友達も入っていたことから気軽に入部しました。その時は、3年間も続くとは思いませんでした。

入部して良かったと思う事は、アイデア工作をする事で、モノ作りの大変さ、そして楽しさ・面白さを知る事が出来た事です。先生方に一緒にアイデアを考えてもらったり、道具の使い方を丁寧に教えてもらった事は、僕にとってとてもプラスになる事でした。

又、楽しかった思い出と言えば、島外学習で神戸青少年科学館でみんなの作品を見たり、インスタントラーメン発明館を見学した事、島内の会社を見学した事等です。クラブで知り合った友達と話す事も楽しみでした。

僕は、発明クラブを通し、沢山のひとと出会い学びました。小学校時代に貴重な体験が出来て良かったと思っています。

ありがとうございました。

日常で「これや」 アイデアわくわく

柔らか頭で発明グウ

淡路少年少女発明クラブに所属する小学児童の作品12点を集めた「淡路児童発明くふう展」が8日、同市志筑の市中央公民館で始まった。子どもたちが日常生活の中で使えるアイデア作品を考案し、大人の助言を受けながら作り上げた。18日まで展示している。(藤本久裕)



子どもたちのユニークな発想による作品が並ぶ「淡路児童発明くふう展」。いずれも淡路市志筑



ハンガーの上に扇風機の羽根を取り付けた「ハヤボシカンソウキ」

淡路の児童ら作品展

淡路市内の小中学生が参加する同クラブの創立20周年を記念して、初めて開いた。クラブには小学3〜6年生の13人が所属。機械メーカーの技術者や小学校の教諭の指導を受けながら、月2回の活動を続ける。今回展示しているのは今年4月から作品づくりを始めた12人の作品だ。
市立大町小学校4年の仲井夏輝君は、毎日決められた時間に同じ量の餌を金魚に与える「自動おきやりき」を作った。装置を水槽の上に置き、タイマーとモーターで餌の入った筒を決まった時間に回転させ、筒の穴から一定量の餌を水槽に落とす仕組み。10月に開かれた県立児童発明くふうコンクールで、発明協会兵庫支部奨励賞を受賞した。家で飼っている金魚の餌やりを時々忘れていたことから考えた。
市立中田小学校3年の城田優希君は、筆箱も洗濯物が乾きやすいように、「ハヤボシカンソウキ」を考案した。風が吹くと洗濯物が乾きやすいことに注目。ハンガーの上でモーターで回る扇風機の羽根を取り付けた。
この他、CD版をモーターで回して光を飛ばせ、ハトがバランに寄りつかないようにする「はとおいたき」(市立志筑小学校3年、今北知宏君)や、カのない子どもでも簡単にベントボットのキャップを回せる「キャップ外し機」(市立志筑小学校5年、植松大輝君)などユニークな作品が並ぶ。
同クラブ副会長の堀口純さん(68)は「会員数は最盛期の3分の1程度に減ったが、通い続けている子は柔軟な頭でいろいろなアイデアを考案していきます」と話している。

平成22年11月9日(火) 朝日新聞

科学の楽しさ伝え続け

「発明クラブ」指導員が出前授業

「淡路少年少女発明クラブ」(淡路市)の指導員が講師を務め、2012年度から同市内の全小中学校で順次開いてきたロボット技術を学ぶ出前授業の最終回が14日、東浦中学校であった。5年間で24校、計33回の授業を実施。メンバーは「やり終えた達成感と少し寂しさもある。科学の楽しさを知ってもらうため、次は何をすべきか考えたい」と話す。(内田世紀)

子どもたちに技術の進歩や物作りの楽しさを教えるよう同クラブが主催する。12〜14年度は19小中学校で、15、16年度は5小中学校で実施。この日は3年5組の33人が受講した。
まず、「ミニニケーション」や「各種センサー」をさまざまな目的のロボットを映像で紹介。同クラブが用意した2足歩行ロボットの実演では、「片足立ち」「起き上がる」などの複雑な動きに驚きの声が上がった。
続いて、コンピュータを搭載した小型自動車に、障害物を避けて進む行動パターンを記憶させるプログラミングを体験。思うよう動き出す生徒に、講師の梅原隆之さん(70)は「最初からうまくいかなかったら、考えて挑戦することを楽しいと感じてほしい」と呼び掛けた。
「将来はエンジニアになりたい」と話す右下、福貴さん(11)は「単純に見える動

淡路市内 5年かけ全小中学校を訪問



きでも、さまざまなきが、あることが分かった。こんな授業なら何回でも受けてみたい」と喜んでいました。

「淡路少年少女発明クラブ」の指導員からロボット技術を学ぶ生徒たち＝東浦中学校

平成28年6月23日(木) 神戸新聞

釜口小4年 永田さん

郡家小3年 三津君

志筑小6年 植松君



「県学生児童発明くふう展」で特賞を受賞した（左から）永田快葉さん、三津徹大君、植松大輝君＝しづのおだまき館

県の大会で
淡路少年少女クラブ

淡路市内の小学生在が創意工夫した工作や発明に取り組み「淡路少年少女発明クラブ」の3人の作品が、神戸市であった「県学生児童発明くふう展」（県発明協会など主催）で特賞に選ばれた。（内田世紀）

受賞したのは、県商工 葉さん⑨、県発明協会 会議所連合会頭賞に郡 奨励賞に志筑小学校6年 家小学校3年の三津徹大の植松大輝君⑫。君⑨、神戸新聞社賞に 同クラブは1990年 釜口小学校4年の水田快、現在は23人

暮らしの中の「便利」追究 発明展 3児童に特賞



永田さんの「しずかなめざまし時計」



三津君の「計算マスター」



植松君の「改良型カッター」

の小学生が所属する。定期的に集まり、学校の教諭らの指導で活動している。同展は1月に開かれ、

県内各地から171点の「受賞を喜んだ。応募があり、うち21点が 永田さんは、周りに迷惑をかけずに起きられる「しずかなめざまし時計」の特賞に選出された。同クラブからは21人が出展した。

三津君は、かけ算の九九の学習に役立つ「計算マスター」を作った。九九の段の数字と解答の数字を書いた二本の棒をボードの両端に差し込み、解答は扉を閉じて隠しておく。考えた答えを数字のマグネットボードの真ん中に付けた後、扉を開けて答え合わせをする。「九九を勉強している弟に使ってほしい」と。

植松君は安全性を重視した「改良型カッター」を考えた。カッターの刃にふたを取り付け、けがなどを防ぐ。「小さな子どもに役立ててもらいたい」とうれしそうに話した。

「膨らんで目を覚ます仕組みやタイミングに気を付けた」と振り返る。

三津君は、かけ算の九九の学習に役立つ「計算マスター」を作った。九九の段の数字と解答の数字を書いた二本の棒をボードの両端に差し込み、解答は扉を閉じて隠しておく。考えた答えを数字のマグネットボードの真ん中に付けた後、扉を開けて答え合わせをする。「九九を勉強している弟に使ってほしい」と。

植松君は安全性を重視した「改良型カッター」を考えた。カッターの刃にふたを取り付け、けがなどを防ぐ。「小さな子どもに役立ててもらいたい」とうれしそうに話した。

三津君は、かけ算の九九の学習に役立つ「計算マスター」を作った。九九の段の数字と解答の数字を書いた二本の棒をボードの両端に差し込み、解答は扉を閉じて隠しておく。考えた答えを数字のマグネットボードの真ん中に付けた後、扉を開けて答え合わせをする。「九九を勉強している弟に使ってほしい」と。

植松君は安全性を重視した「改良型カッター」を考えた。カッターの刃にふたを取り付け、けがなどを防ぐ。「小さな子どもに役立ててもらいたい」とうれしそうに話した。

平成23年12月23日(祝) 神戸新聞

クラブ活動の様子



宗会長による課題工作指導



平成25年度アイデア工作クラブ内表彰



東大阪市少年少女発明クラブとの交流会
平成25年12月14日(土)



課題工作⑥「びっくりうちわを作ろう」
平成25年12月21日(土)



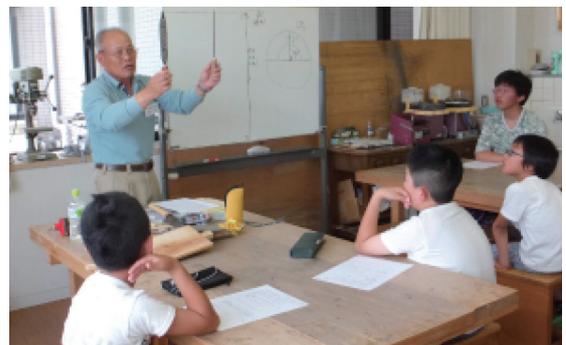
課題工作④「空飛ばやじろべえをつくろう」
平成26年12月20日(土)



公開発明教室「回転アニメーション」
平成26年4月19日(土)



課題工作⑤「モーターカー作ろう」
平成27年1月10日(土)



基礎工作②「木工の基礎」
平成27年5月30日(土)



アイデア工作
平成27年6月27日(土)



課題工作④「風力発電機」
平成27年12月12日(土)



特別工作教室③「竹笛(ウグイス笛)を作ろう」
平成28年2月6日(土)



特別工作教室①「キーホルダーの製作」
平成28年12月24日(土)



課題工作①「本立てを作ろう」
平成29年6月24日(土)



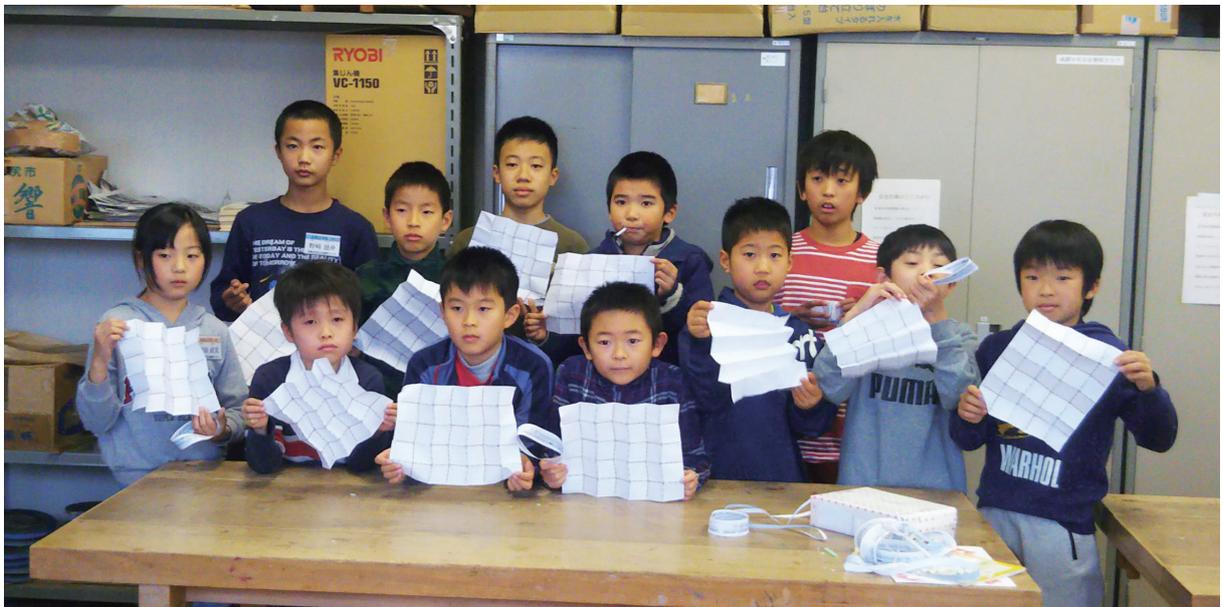
課題工作①「オリジナル本立て」
平成30年7月14日(土)



課題工作③「コイルモーターの製作」
平成29年8月19日(土)



課題工作④「縄跳び人形を作ろう」
令和元年9月7日(土)



特別工作教室②「メビウスの輪とミウラ折りを作ろう」 令和元年12月21日(土)



特別工作教室③「パズルを作ろう」
令和2年1月25日(土)



反省会・お楽しみ会
令和2年2月8日(土)

島内・島外体験学習

年 度	日 程	体 験 学 習 先	
平成22年度	8月25日(水)	島内	株式会社三和製作所 (淡路市・志筑)
	11月3日(祝)	島外	バンドー神戸市立青少年科学館 (神戸市)
平成23年度	8月24日(水)	島内	山本光学株式会社 (淡路市・北淡・東浦)
	11月3日(祝)	島外	バンドー神戸市立青少年科学館 (神戸市) グリコピア神戸 (神戸市)
平成24年度	8月22日(水)	島内	株式会社ムカエ (淡路市・大谷) 消防署 津名分署 (淡路市・中田) ミツ精機株式会社 (淡路市・郡家)
	11月4日(日)	島外	バンドー神戸市立青少年科学館 (神戸市) 竹中大工道具館 (神戸市)
平成25年度	8月21日(水)	島内	木下自動車株式会社 (淡路市・志筑) URA株式会社 (淡路市・東浦)
	11月4日(祝)	島外	バンドー神戸市立青少年科学館 (神戸市) 神戸ヤクルト工場見学 (神戸市)
平成26年度	8月20日(水)	島内	薫寿堂株式会社 (淡路市・郡家) 北坂養鶏場 (淡路市・育波)
	11月2日(日)	島外	バンドー神戸市立青少年科学館 (神戸市) 関西電力大河内発電所 (神河町)
平成27年度	8月19日(水)	島内	株式会社浦共同造船所 (淡路市・東浦)
	11月1日(日)	島外	バンドー神戸市立青少年科学館 (神戸市) チキンラーメンファクトリー (池田市)
平成28年度	8月17日(水)	島内	オリエンタル製靴株式会社 (淡路市・夢舞台)
	10月30日(日)	島外	バンドー神戸市立青少年科学館 (神戸市) 灘浜サイエンススクエア (神戸市)
平成29年度	8月23日(水)	島内	株式会社イレブンインターナショナル (淡路市・夢舞台)
	11月5日(日)	島外	バンドー神戸市立青少年科学館 (神戸市) 神戸海洋博物館 (カワサキワールド) (神戸市)
平成30年度	8月22日(水)	島内	株式会社吹き戻しの里 (淡路市・東浦)
	11月4日(日)	島外	バンドー神戸市立青少年科学館 (神戸市) ひょうご環境体験館 (佐用町)
令和元年度	11月9日(土)	島内	株式会社神田鉄工所 (淡路市・浅野)
	8月8日(木)	島外	アスタムランド徳島 (徳島市) 大塚製菓 板野工場 (徳島市)



バンドー神戸市立青少年科学館（島外体験学習） 平成23年11月3日(祝)



グリコピア神戸（島外体験学習）
平成23年11月3日(祝)



山本光学株式会社（島内体験学習）
平成23年8月24日(木)



バンドー神戸市立青少年科学館（島外体験学習）
平成24年11月4日(日)



竹中大工道具館（島外体験学習）
平成24年11月4日(日)



木下自動車株式会社 (島内体験学習)
平成25年度8月21日(水)



チキンラーメンファクトリー (島外体験学習)
平成27年11月1日(日)



株式会社イレブンインターナショナル (島内体験学習)
平成29年8月23日(水)



島外体験学習 (神戸海洋博物館)
平成29年11月5日(日)



株式会社神田鉄工所 (島内体験学習) 令和元年11月9日(土)

受賞記録

年度	受賞名	受賞作品名	受賞者名
平成23年度	兵庫県学生児童発明くふう展 兵庫県商工会議所連合会会長賞	計算マスター	淡路市立郡家小学校 3年 三津 徹大
	兵庫県学生児童発明くふう展 神戸新聞社賞	しずかなめざまし時計	淡路市立釜口小学校 4年 永田 快葉
	兵庫県学生児童発明くふう展 (一社) 兵庫県発明協会奨励賞	改良型カッターナイフ	淡路市立志筑小学校 6年 植松 大輝
平成24年度	兵庫県学生児童発明くふう展 (公財) ひょうご科学技術協会理事長賞	簡単に靴がはけます	淡路市立志筑小学校 6年 植松 竜也
	兵庫県学生児童発明くふう展 (一社) 兵庫県発明協会奨励賞	お父さんの呑みすぎ注意君	淡路市立郡家小学校 4年 三津 徹大
	第71回 全国学生児童発明くふう展 入選		
平成25年度	兵庫県学生児童発明くふう展 (一社) 兵庫県発明協会議会議長賞	楽譜めくり機	淡路市立室津小学校 6年 沖 侑美
平成26年度	兵庫県学生児童発明くふう展 (一社) 兵庫県発明協会 日本弁理士会 近畿支部支部長賞	草の土取ボックス	淡路市立学習小学校 4年 藤田 和希
	兵庫県学生児童発明くふう展 (一社) 兵庫県発明協会会長賞	かたたたき	淡路市立北淡小学校 3年 岡山 奈津希
平成27年度	兵庫県学生児童発明くふう展 兵庫県教育長賞	長くつかんそう機	淡路市立生穂小学校 4年 田村 楽
	兵庫県学生児童発明くふう展 日本弁理士会近畿支部支部長賞	足ふみ楽譜めくり機	洲本市立洲本第三小学校 6年 岡田 遊快
	兵庫県学生児童発明くふう展 神戸新聞社賞	栗むき機	淡路市立学習小学校 5年 藤田 和希
	兵庫県学生児童発明くふう展 (一社) 兵庫県発明協会会長賞	水鉄砲付き風呂ごみバスタ	洲本市立安乎小学校 4年 富本 悠生
	第74回 全国学生児童発明くふう展 入選		
第38回 未来の科学の夢絵画展 優秀賞	物をちゅうにうかせる リモコンがた機械	淡路市生穂小学校 4年 仲田 大翔	

年度	受賞名	受賞作品名	受賞者名
平成28年度	兵庫県学生児童発明くふう展 (一社) 兵庫県発明協会会長賞	にじいろシャワー5	淡路市立学習小学校 6年 藤田 和希
	兵庫県学生児童発明くふう展 兵庫県教育長賞	ごみぺしゃんこマシーン	洲本市立安乎小学校 5年 富本 悠生
	兵庫県学生児童発明くふう展 日本弁理士会近畿支部長賞	いろいろまきまきフォーク	淡路市立浦小学校 4年 濱野 あや
	第39回 未来の科学の夢絵画展 奨励賞	海水を動力源とする救助船	淡路市立一宮小学校 4年 大植 悠利
平成29年度	兵庫県学生児童発明くふう展 神戸新聞社賞	きゅうきゅうきゅういん ボックス	淡路市立育波小学校 3年 藤本 サミル佑
	第40回 未来の科学の夢絵画展 奨励賞	かみなり発電	淡路市立一宮小学校 3年 魚 静真
	第40回 未来の科学の夢絵画展 奨励賞	100%ゆれない家	洲本市立洲本第二小学校 4年 川添 寛太
平成30年度	兵庫県学生児童発明くふう展 兵庫県商工会議所連合会会頭賞	収納万能スタンド	淡路市立石屋小学校 3年 吉田 要
	兵庫県学生児童発明くふう展 兵庫県発明協会会長賞	便利なトイレトペーパー ホルダー	淡路市立北淡小学校 3年 原田 直実
	第41回 未来の科学の夢絵画展 優秀賞	異次元レスキューポータル	淡路市立北淡小学校 4年 藤本サミル佑
	第41回 未来の科学の夢絵画展 奨励賞	腕昆虫図鑑	淡路市立北淡小学校 5年 西沢 啓吾
令和元年度	兵庫県学生児童発明くふう展 兵庫県発明協会奨励賞	ゴキブリキャッチャー	淡路市立一宮小学校 5年 魚 静真
	兵庫県学生児童発明くふう展 神戸市立青少年科学館賞	Automatic Window	洲本市立洲本第二小学校 6年 川添 寛太
	第78回 全国学生児童発明くふう展 入選		
	第42回 未来の科学の夢絵画展 奨励賞	スペースデブリをリサイクル	淡路市立北淡小学校 6年 澤田 和於



平成24年度
兵庫県学生児童発明くふう展 入賞
志筑小学校6年 植松竜也



平成24年度
兵庫県学生児童発明くふう展 入賞
郡家小学校4年 三津徹大



平成24年度
兵庫県学生児童発明くふう展 授賞式



平成25年度
兵庫県学生児童発明くふう展 入賞
室津小学校6年 沖 侑美



平成27年度
兵庫県学生児童発明くふう展 入賞
洲本第三小学校6年 岡田遊快



平成27年度
兵庫県学生児童発明くふう展 入賞
生穂小学校4年 田村 楽



平成27年度
兵庫県学生児童発明くふう展 入賞
学習小学校5年 藤田 和希



平成27年度
兵庫県学生児童発明くふう展 入賞
安乎小学校4年 冨本 悠生



平成28年度
第39回 未来の科学の夢絵画展 入賞
淡路市長へ受賞報告会 一宮小学校4年 大植 悠利



令和元年度
兵庫県学生児童発明くふう展 入賞 淡路市長へ報告
一宮小学校5年 魚 静真、洲本第二小学校6年 川添 寛太

開会式 集合写真



平成23年度 開始式



平成24年度 開始式



平成25年度 開始式



平成26年度 開始式



平成27年度 開始式



平成28年度 開始式



平成29年度 開始式



平成30年度 開始式



令和元年 開始式

淡路少年少女発明クラブ規約

(設置)

第1条 少年少女に科学的な興味、関心を追及する場を提供し、自由な環境の中で創作活動を行い、作品を完成させる喜びを体得させ、科学的発想に基づく生活態度を育成すると共に、創作性豊かな人間形成を図ることを目的として淡路少年少女発明クラブ(以下「発明クラブ」という。)を設置する。

(所在)

第2条 発明クラブは、淡路市立津名公民館内とする。

(活動)

第3条 発明クラブは、第1条の目的達成のため次の各号に該当する活動を行う。

- (1)少年少女が本来持っている独創性を出来るだけ発揮させるよう、楽しみながら自由な発想で創作活動をする。
- (2)特定のテーマで、みんなで創意工夫をしながら製作活動をする。
- (3)発想、計画、集団討議や技術の指導を受けながら、科学的な見方や考え方を学ぶ。
- (4)作品は、懇談会などで保護者(父母等)に紹介するほか淡路少年少女発明クラブ創作展等を開催し、一般にも広く公開する機会を設ける。
- (5)その他発明クラブの目的達成に必要な活動を行う。

(発明クラブ役員)

第4条 発明クラブに次の役員を置く。

- (1)顧問 若干名
- (2)会長 1名
- (3)会長代理 1名
- (4)副会長 3名
- 2 会長は、第5条の企画運営委員会に於いて選任し公益社団法人発明協会の会長が委嘱する。顧問及び会長代理及び副会長は、第7条1項に規定する委員のうちから、発明クラブ会長が選任し委嘱する。
- 3 会長は、発明クラブの会務を総理し、発明クラブを代表する。
- 4 顧問は、会長の要請により会務の補佐をする。
- 5 会長代理は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長の要請により、その職務を代理する。
- 6 副会長は、会長代理を補佐し、会長代理に事故あるとき又は会長代理の要請により、その職務を代理する。

(企画運営委員会の設置)

第5条 発明クラブに企画運営委員会(以下「委員会」という。)を設置し、発明クラブの運営に当たる。

(委員会の目的)

第6条 委員会は、発明クラブの活動に関する以下の企画及び運営の基本事項を審議する。

- (1)年間計画に関すること
- (2)安全対策に関すること
- (3)その他運営に関すること

(委員会の構成及び委員の選任)

第7条 委員会の委員は、次の各号に掲げる者のうちから発明クラブ会長が選任し委嘱する。

- (1)学識経験者
- (2)教職員、教職員経験者
- (3)理工系の職業従事者、及びその経験者
- (4)一般社団法人発明協会の職員
- (5)淡路市教育委員会の職員
- (6)その他会長が必要と認めた者
- 2 委員会に次の役員を置く。

- (1)委員長 1名(会長)
- (2)副委員長 2名(会長代理と他1名)
- (3)会計監査 2名
- 3 委員長は発明クラブ会長が務め、副委員長は会長代理と他1名を会長が選任する。
- 4 委員長は委員会の会務を掌理し、副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。
- 5 会計監査は委員の互選により定める。

(任期)

第8条 発明クラブ役員及び各委員の任期は、2年とする。ただし再任は妨げない。

- 2 任期中であっても職責が全うし得ない事情が生じたとき、または辞任の申し出があったときは、委嘱を解くことができる。
- 3 補欠により就任した者の任期は、第1項の規定にかかわらず前任者の残任期間とする。

第9条 委員会は、委員長が召集し、その議長は委員長が選任する。

- 2 委員会は定例委員会及び臨時委員会とし、定例委員会は毎年度1回、臨時委員会は委員長が必要と認めるとき召集する。
- 3 委員会は委員の過半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。
- 4 委員会の議案は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の議決するところによる。
- 5 委員会は会議を開催し会議の内容は、全委員が把握できるようにしなければならない。

(指導員)

第10条 発明クラブに発明クラブ員の指導を行うため、指導員を置く。

- (1)指導員 若干名
- 2 指導員は第7条1項を準用して、発明クラブ会長が選任し委嘱する。

(指導員の任期)

第11条 指導員の任期は、第8条第1項を準用する。

(費用弁償)

第12条 第4条に規定する役員及び第7条に規定する委員並びに第10条に規定する指導員に、費用弁償を支給することができる。

- 2 前項の費用弁償の支給に必要な事項は、委員会の議決を経て会長が別に定める。

(開講期間等)

第13条 発明クラブの開講期間は、毎年4月から翌年3月までの間とする。

- 2 開講日は、原則として月2回を基準とする。ただし、学校等の長期休業中は、別途の計画で開講する。

(会員)

第14条 発明クラブの会員は、淡路市在住の小学校3年生から6年生までの児童と小学校6年生からの継続会員の中学校生徒とする。

- 2 入会申し込み後、所定の審査を経て発明クラブの目的達成を阻害しない者又はその恐れのない者と判断された時は入会を承認するものとする。
- 3 定員は、30名とする。

(協賛会員)

第14条の2 協賛会員は発明クラブの活動に理解し協力する法人と個人として、企画運営委員会の承認を要する。

(学生ボランティア)

第14条の3 クラブ員が6年生で終了後は、学生ボランティアとして名簿に登録する。

- 2 学生ボランティアは、年間のクラブ活動に自己判断で参加をして、クラブ指導員の指導補助をする。

(事務局)

第15条 発明クラブの事務局を淡路市立津名公民館内に置き公民館館長又は淡路市教育委員会職員がその職務を行う。

2 委員会の庶務は、事務局において処理する。

(入会申し込み)

第16条 入会の申し込みは、保護者が入会申込書に所定の事項を記入・押印のうえ、事務局に提出する。

2 年度最初の募集以降、年間を通じ定員に満たない時、常時欠員を第14条の規定により入会申し込みを受付ける。

(年会費)

第17条 会費は5,000円とし、製作に必要な共通教材費、及び傷害保険費用に充てる。ただし、体験学習（島外）の費用等は、自己負担を一部必要とする場合がある。入会受付時に全額を徴収する。

2 淡路市以外の会員は、特別付加金として3,000円を会費に加えて納めなければならない。

3 年度途中の退会については、9月末までに退会届けを受理した場合に限り会費の半額返還に応じます。

(協賛会員年会費)

第17条の2 法人の協賛会員は、年会費として年度初めの4月中に2万円をクラブ指定の銀行に振り込むこととする。

2 個人の協賛会員は、1口1,000円の年会費を年度初めの4月中にクラブ指定の銀行に振り込むこととする。

(年度会計)

第18条 発明クラブの会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(委任)

第19条 この淡路少年少女発明クラブ規約の施行に必要な事項は、会長が委員会に諮って定める。

(私物の取り扱いについて)

第20条 私物の取り扱いについては自己責任の元で管理するものとする。

附則

- 1 事務局の設置場所を第15条1項のとおり改定する。平成22年4月1日から施行する。
- 2 14条の定員改訂、平成30年4月1日から施行する。
- 3 14条の定員改訂、平成31年4月1日から施行する。
- 4 事務局の名称を第2条、第15条1項のとおり改定、令和3年4月1日から施行する。

協賛企業紹介



株式会社三和製作所

〒656-2131 兵庫県淡路市志筑2570-2 / 代表取締役：石井 康文



株式会社ツダ

〒656-2131 兵庫県淡路市志筑3077 / 代表取締役：津田 豊



ミツ精機株式会社

〒656-1522 兵庫県淡路市下河合301 / 代表取締役社長：三津 千久磨



ミツテック株式会社

〒656-1526 兵庫県淡路市中村134-1 / 代表取締役社長：東 晃



ムネ製薬株式会社

〒656-1501 兵庫県淡路市尾崎859 / 代表取締役社長：西岡 一輝



山本光学株式会社

〒577-0056 大阪府東大阪市長堂3丁目25-8 / 代表取締役社長：山本 直之

編集後記

2022年4月の企画運営委員会で当クラブ創立30周年記念誌を2023年3月31日に発刊することを決定しました。2年前に一時編集作業を進めていましたがコロナ禍の中であって先へと進めることが困難であるとの判断で中断をしていました。

今回の記念誌編集にあたっては、過去に発行の記念誌を参考とし新たにクラブ員OBの感想文と、出前講座、出前工作、各種イベントへの参加、科学技術週間にちなむ記念講演会、クラブ作品等展示会の記事を加えています。

淡路市、淡路市教育委員会、(公社)発明協会、(一社)兵庫県発明協会、協賛企業の各代表者の皆さまから祝辞を賜り誌面に花を添えて頂きました。また、企画運営委員、指導員からも担当者の観点から経験談、抱負を述べていただきました。

各種名簿、実施の行事、新聞記事、活動状況の写真などの収集した記録資料は、正確性に細心の注意を払いながら編集してきました。

最後になりましたが、この記念誌作成には、丸林貴博氏、廣瀬幸治氏、中之内肇氏を始め多くのクラブ役員のご協力を得ることができましたことを深く感謝申し上げお礼の言葉といたします。

会長代理 堀口 純

※企画運営委員の入れ替わり等によって情報が不完全な年度は、
残された書類およびデータを元に編集しています。

淡路少年少女発明クラブ 創立30周年記念誌

発行者：淡路少年少女発明クラブ

【事務局】

〒656-2131 兵庫県淡路市志筑3117-1
(淡路市立津名公民館内)

☎0799-62-0157 FAX 0799-62-6844

令和5年3月31日 初版発行



淡路少年少女発明クラブ
創立30周年記念誌